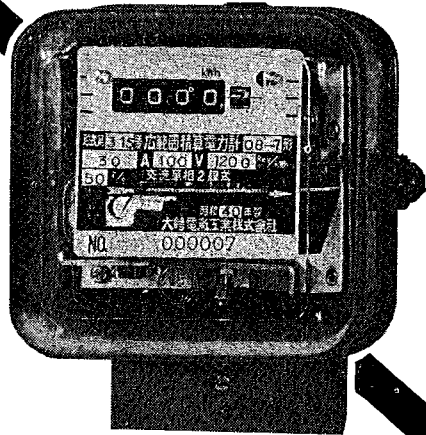


Osaki

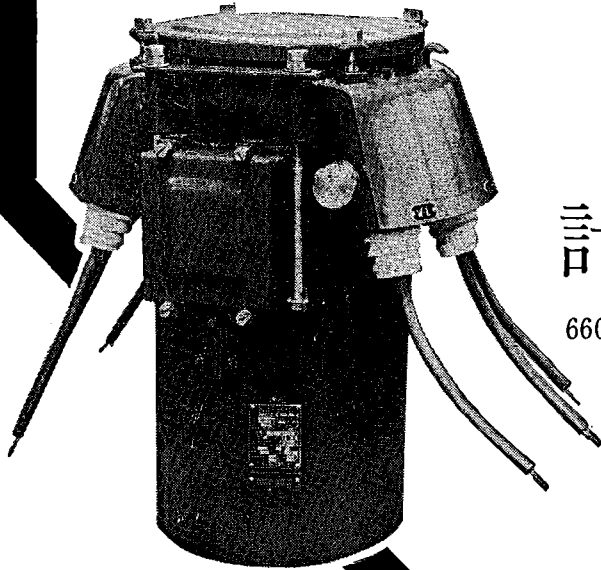
最高の確度と信頼度を持つ

# 電力量計

- |     |       |
|-----|-------|
| 单相用 | OB-7形 |
| 3相用 | OW-7形 |
| 精密用 | OP-3形 |



OB-7形広範囲单相積算電力計



# 計器用変成器

6600V用重予型PCT PDN形

—主要製品—

電力量計・電流制限器  
計器用変成器・電圧調整器  
配電盤・分電盤・制御盤



## 大崎電氣工業株式会社

本社・五反田工場 東京都品川区東五反田2-2-7 電話東京(443)7171代表  
 蒲田工場 東京都大田区多摩川2-8-1 電話東京(732)6511代表  
 埼玉工場 埼玉県入間郡三芳村大字藤久保 電話0492-61-1205

昭和 43 年 11 月 号

時 評.....(1)

第23回国民体育大会.....(2)

第23回国体総評.....嶋田信太郎...(12)

臨時評議員会・理事会.....(14)

I H F 総会に出席して.....荒川清美...(16)

ネデフルーマニアコーチに学んで  
宮原俊隆・竹野奉昭...(18)

海外トピックス.....(20)

フランスの技術研究⑯.....(22)

世界ハンドボールの歩み⑦.....(24)

登録チーム数の発表を見て.....(26)

全日本大会へ読者の意見.....(28)

日本ハンドボール協会加盟組織一らん表  
.....(30)

関東学連創立30周年記念行事.....(31)

各地の記録.....(32)

編集後記.....(32)

表紙写真 第23回国体一般女子決勝

光島磯雄氏撮影

キャノンベリックス200mm 3.5

5.6/1000 Tri X

(10月5日高浜小学校)

『来年あたりかなりの実績をあげておかないとJOCは派遣してくれないとみる』『世界のトップレベルに達するには努力がいる』

——この二つの言葉は前号の本誌に掲げられたもので前者は保坂周助会長代行の巻頭言、後者はN・ネデフ氏の談話のそれぞれ一節である。私はこの二つの言葉は、今の日本ハンドボール界に大きな警鐘だと思う。

今や日本ハンドボール関係者の心は「ミュンヘン、ミュンヘン」と高鳴っている。しかし、掛け声ばかりで、実績的には、ほとんどミュンヘンへの準備がなされていないが現状である。

メキシコオリンピックが終わったばかりだ、焦りなされるナということなのかも知れないが、日本のスポーツ界における「ハンドボールの位置」は残念ながら強大ではない。ましてや、オリンピックということに

なれば、過去の実績は一つもなく、他競技に比べてはるかに大きなハンディを背負っている。

メキシコ大会を前に、JOC(日本オリンピック委員会)が少数精鋭主義を打ちだし、各競技団体が争って、そのワクをいかに多く得ようとしたかは、御存知の読者も

## 傾聴すべき二つの「忠告」

### 「ミュンヘンへの戦いは始まっている」

多いハズである。

今回の場合は、東京大会の次ということ

あって最終的には二百人をこすデレゲーションがメキシコ・シティに乗りこんだが、ミュンヘンの時にも、このような大規模な代表団を送るかどうかは一つの保証もない。むしろ縮小させるとみるのが常識だろ

う。

その場合「初顔」のハンドボールの立ち場は決して楽観を許さない。

日本のハンドボール界が目指すのは一九七二年のミュンヘン大会ではなく、それ以前——つまり一九七一年であり、一九七〇年であり、来年における「国際的な実績」

なのである。

保坂会長代行は日本体育協会理事でもあり、前掲の発言は、日本ハンドボール界をおもろ重大な忠告であると同時に警告でもあるのだ。

一方、ネデフ氏はつばさにヨーロッパ各々の近況・情勢を見ている人で、各国と日

本を比較した場合の卒直な感想があのような助言になっているのである。

残された期間は、4年間ではない。あと僅かなのである。

ようやく選手強化対策指導本部が発足したようだが、オリンピックへ突進するには、さらにこのスタッフを煮つめて、遅くとも今年内には『向こう4年間の強化計画』を立案し、発表までにこぎつけるべきであろう。

荒川体制が布かれて1年7ヶ月地道な発展、充実はとげているものの、今のベイスはこの期において、ふさわしい早さとはいえない。

日本ハンドボール界の命運をかけるといってもよいミュンヘンオリンピックへの戦いの幕はすでにあがっているのだ。

日本ハンドボール界の首脳陣、執行陣、指導陣が一九七一年となってたくましい前進を示すようその行動力、活動力を大いに期待するものである (S・S)

# 女子球界は熊本が征す

## 一般女子大洋デパート・高校女子菊池農

## 一般男子は大崎・教員は大阪イーグルス・高校男子は全静岡

第二三回国民体育大会秋季大会ハンドボール競技は10月2日〜6日までの5日間福井県高浜町、高浜小学校グラウンド、青郷小学校体育館(雨天)、高浜町体育館(雨天)で行なわれた。

一般男子は大崎電気(埼玉)と三景(東京)が危げなく駒を進めて、決勝戦は接戦であったが、大崎電気が八連覇を果した。

一般女子は今年度初の真の意味での四強の対戦となったが、大洋デパートと田村紡が決勝戦で顔を合せ、大洋デパートが全日本の主体となっていた田村紡を破り、夏の全日本総合に続いて二冠を獲得し、五年ぶり、三度目の優勝を飾った。

教員男子は予想通り、大阪イーグルス、埼玉教員団という宿敵同志の対決となったが、大阪イーグルスが夏の教職員選手権の雪じよくをとげた。高校男子はインター・ハイ優勝の下関中央工が準々決勝で新居浜工に破れるなど波乱が続いたが、結局決勝は全静岡―兵庫選抜の選抜チーム同志の組み合せになり、全静岡が優勝をとげ、国体高校部門に新しい話題をよんだ。

高校女子はインター・ハイ優勝の菊池農が他を全くよせつけない圧倒的な攻守を見せ、実力のほどを見せた。この部門でも選抜勢の成績が良く、来年度からの国体高校部門の編成にいろいろの問題を投げかけることになる。

## 順当な結果におわる

### 一般男子

リードを奪った。

しかし、後半に入ると大曲クは良くカッドプレーに出、反撃をしたが、前半の差をついにつめることができず、熊本クが快勝した一戦であった。

両チームともに動きは多かったが、ミスが多く、平時の練習不足

と基礎技術の未熟さが目だった。AOK栃 22(13-9) 14 宗形製作(栃木) 9(9-5) 14 所(大阪)

前半は栃木のペースで試合が進んだ。これは速攻を中心にしたもので、楽に点差を開き、ゲームをきわめて有利に展開していった。後半に入ると、逆に宗形の速攻が良く決り、追い上げをはかり、一時は一点差にまでつめ、ゲームを盛りあげたが、最後まで、ス

タミナが続かず、差をあげられる結果となり、惜しくもAOKに勝をゆずった。

徳山ク 18(11-3) 11 県工ク(山口) 7(7-8) 11 (石川)

徳山クは前半、安沢を中心にした攻撃で大差をつけた。後半県工クの逆襲が見られたが、前半の失点は余りにも大きすぎたため、ついに追いきれなかった。県工クの最後まで試合を捨てない闘いぶり

は好感がもたれた。両チーム共ゴール前のコンビがとれていず、個人の単独フエイントからのシュートが多く、走りの少ないゲームであった。この点を更に補い、好チームに成長してほしい。

北電福井 25(13-11) 6 青森マツ(福井) 15(13-5) 6 青森(青森)

地元の声援を受けた北陸電力は前半から多いにとほし、小笠原を中心にした攻撃で12点をあげ、青森を僅か1点に押さえた。

後半に入っても、このペースは変わらず、ときおり見せる青森の反

撃を5点に押さえ、自らは13点の大量点をあげ、地元の声援に見事に応えた。体力、技術、斗志いずれをとつても、北陸電力の快勝であった。この試合は12点の大量点をたたきだした小笠原の健斗は賞されよう。

光電工業 21(14-7) 9 海上自衛隊(群馬) 14(14-8) 17 隊第一(鹿兒島)

前半は海上自衛隊のペースであった。しかし、技術的に一日の長のある光電工業は前半の2点差を後半はじめに逆転すると、速攻の成功による加点が増え、試合の展開を楽にしていた。

富岡高OBを主体としている光電工業は技術一般―特にシュート力―において、海上自衛隊に一段と優っており、二回戦に駒を進めることができた。

全静岡 22(12-10) 15 富士レジ清水商業OBが中心の全静岡はチームワーク良く、前半に五点を

つけ、後半も自己のペースを守り、快勝した。

静岡はポストプレー、ロングシュートをおりませた攻撃を成功させていたが、兵庫はパス、シュートとも思うようにいかず、実力を発揮することなく、敗れさつてしまった。

静岡は若手の清商OBの活躍がめだった。

### 一回戦

熊本ク 27(13-14) 14 大曲ク(熊本) 11(11-11) 14 (秋田)

前半の熊本はミドルシュート、ポストプレーをよく決めて、大量

住化菊本 31(15|16-9) 18 (長野)

(愛媛) 31(15|16-9) 18 (長野)  
実業団の一方の雄住化菊本と北  
佐久農高OBの集りである北農ク  
との一戦。キヤリアに勝る住化は  
身心ともに充実し、終始良い動き  
で北農クを圧倒した。北農クは攻  
撃の最後のツメが悪く、長谷川独  
りに頼る結果となり、動きが単純  
でボールの廻し方も遅すぎた。

両チームともにいえることはデ  
イフェンスの甘さである。この点  
をおおいに考えて練習してほし  
い。

三景 18(7|13) 11 (富山)  
(東京) 18(7|13) 11 (富山)  
前半は両チームとも、速攻の出  
しあいで対戦したが永見クは最後  
のシュートが悪く、チャンスをも  
のにすることができなかった。

逆に三景はチャンスには得点を  
重ねた。後半も前半同様の経過を  
たどり、速攻の応しゆうとなった  
が、ゴールキーパーの球出しの差  
がそのまま得点の差になり、三景  
が二回戦に進んだ。

京都ク 28(15|13) 13 (函工OB)  
(京都) 28(15|13) 13 (北海道)  
京都の大学OBを中心にした京  
都クと函館工高OBの集りである  
函工OBの対戦。すべり出しは互  
角であったが、京都クは相手のミ  
スに乗じ、速攻とポストプレーで  
加点した。前半に大差をつけられ  
た函工OBは後半、金山を中心  
して反撃に転じようとしたが、さ

して差もつめられなかった。京都  
クでは11点をあげた森本のプレー  
京大黄金時代のプレーヤーである  
市橋、竹口、山口らのプレーがめ  
についた。

奈良ク 30(15|15-3) 12 (高松ク)  
(奈良) 30(15|15-3) 12 (香川)  
前半、奈良クは鳥井、樽井のコ  
ンビネーションプレーで高松クを  
ゆさぶり、大きなサイド攻撃で得  
点を重ね、大勢を決めた。

一方高松クは宮本を中心にした  
ポストプレーを試みるが、得点に  
ならず、苦しい戦であった。

後半に入ると奈良クは西村を中  
心にして、速攻で点差を拵げ、宮  
本を走らせ、俱命に追いこむ高松  
クを引き離し、快勝した。

本田技研 20(12|4) 10 (東北学院)  
(三重) 20(12|4) 10 (宮城)  
基礎技術の練磨された本田技研  
と基礎体力不足のOB会の対戦。  
本田は立上りから速い動きで相手  
をゆさぶり、ミドルシュートを次  
々に決めた。一方の東北学院は終  
始変化のないプレーで対戦してし  
まった。しかし最後まで試合を捨  
てなかった東北学院OBの試合態  
度は賞されよう。

本田はキーパーからの球出しが  
実に良く、これが本田の攻撃を組  
み立てるのに、たいへん大きな力  
となったことを見逃せない。

常盤工業 31(18|13-11) 19 (山梨)  
(岐阜) 31(18|13-11) 19 (山梨)

常盤工業は本年度の活躍が大い  
に期待されているチーム。吉金、  
高橋らがそれぞれの特長を生かし  
たシュートを決め、好調にすべり  
だした。その結果、塩山クはいき  
おい前にツメルことのみで専念し  
後半ポストのあくところを、常盤  
はすかさずつき、ポストプレーで  
も着々加点する。

塩山クは宮原をゲームメーカー  
とし、平塚、雨宮らが加点したが  
防衛の甘さはどうしようもなく、  
一方的な結果におわつてしまつた  
のは残念である。

三菱レ大 22(8|14-6) 11 (盛岡商友)  
(広島) 22(8|14-6) 11 (岩手)  
三菱レのフォーメーションに対  
する、盛岡商友の防衛はマン・ツ  
ウ・マンのな防衛であった。しか  
し、これが巧く消化しきれておら  
ず、中央が大きくわれてしまい、  
そこに三菱レにつけこまれ、どん  
どん三菱レ大竹に加点されてしま  
つた。また後半も同様なペースで  
あったため、追いつきかかわず  
に敗れた。

三菱レ大竹のパスワーク、走力  
は盛岡商友会より一段上のように  
感じられた。

西南ク 23(12|11-10) 19 (和歌山)  
(福岡) 23(12|11-10) 19 (和歌山)

住友金属は自己のペースですべ  
り出し、調子良く加点をしていつ  
たが、西南クはいいしだいに点差  
をちぢめて、1点をリードして前

半を終了した。

後半は完全に試合の主導権を握  
った西南クのペースで試合が展開  
した。

西南クにあつては、ブロックが多  
用され、二人がブロックに入り  
それを利しての得点が多数あつた

# A・O・K、北電、住化、常盤ら

## 勝ち進む

▽2回戦

大崎電気 28(16|12-3) 5 熊本ク  
(埼玉) 28(16|12-3) 5 熊本ク

大曲クに快勝した熊本クも相手  
が国体七連覇の大崎電気とあつて  
は、勝手が違い大差で破れた。

大崎電気はデイフェンスがぎわ  
めてかたく、熊本クは切込みがで  
きず、やむを得ず不利な体勢から  
うつミドルシュートがデイフェン  
ス、キーパーの好餌となり、いず  
れも速攻に結びつけられ、もどる  
にもどれず、体力をいたずらに消  
耗するのみであつてどうしようも  
なかった。

大崎電気はキーパー以外のフイ  
ールドプレーヤー全員が得点する  
という快攻で、全く熊本クをよせ  
つけず、二回戦に進んだ。

練習、コーチにめぐまれた実業  
団チームとすべてに乏しいクラブ  
チームとの差が明白に出た試合で  
あり、今日の日本ハンドボール界

西南はコンビネーションが良く  
とれていたが、なかでも、9点を  
あげた白根、5点の分山、6点の  
五島の三人のコンビネーションプ  
レーが光っていた。西南クの実力  
勝ちといえよう。

を表している試合であつた。  
AOK 18(9|11) 13 徳山  
(栃木) 18(9|11) 13 徳山

前半はカットインプレーポスト  
プレーを使いわけた攻撃で、速攻  
はほとんど見られなかった。前半  
2点のリードを保つて有利に後半  
に臨んだ徳山クは後半に見せた  
AOKの速攻にすすべを知らず  
に、大差をつけられてしまった。

徳山クの敗因は後半の栃木の速  
攻を処理しきれなかったデイフェ  
ンスの弱さに求められよう。  
両チームともノーマークシュー  
トをしれば逃すのがめだつた。

ノーマークシュートを逃すのは、  
精神的にもたいへんまいることに  
なるので、絶対にきめられるシュ  
ート力を養成すべきであらう。

北陸電力 26(14|12-2) 10 光電工業  
(一回戦を快勝した地元北陸電力  
はこの試合も速攻とそれを完全に  
するシュートで光電工業を敗つ

た。

この試合、北陸電力のデイフェンスの前に垂直にあがるジャンプからのシュートが特に功を奏し、キーパーはタイミングをはずされ大量得点を許した。

光電工業はスタンディングパスが多く、終始単調な攻撃を続け、いたずらに得点機を逃すばかりであった。

地元の声援に良く応え、健斗を続けている北陸電力は賞されてしかるべきであろう。

住友化学 11(5-4)9 全静岡 (菊本) 6-5

両チームとも、スピードあるパスワークとフェイントを基調とする攻撃から、シュートを放つという試合展開を見た。

両チームとも技術はほぼ互格で後半3分のチャンスを活した住友菊本が勝利を握った。

両チームともディフェンスが悪いのは一考を要しよう。

三景 19(13-6)12 京都ク

前半、三景はサイドとポストからの多彩な攻撃、一方京都クはロングシュートを決定力にする攻撃でゆずらず、6-6の同点で終了する。

後半になり、三景は速攻を主力武器として、榊、内藤で得点をあげ、京都クを引き離した。一方京都もロングシュートをきめて県命

に追いかけたが、残念ながら、走力が劣り、敗れた。

奈良 19(12-7)17 本田技研クラブ

前半は本田技研のペースで試合が進んだが、奈良は慎重に食下り一点差で終了した。

後半に入ると奈良クはコンビネーションプレーが生かされ、逆転に成功し、準々決勝に駒を進めることになった。

本田技研では7MT4本を含む8点をあげた大下、奈良クでは8点をあげた鳥井、樽井、西村の活躍がめだった。

常盤工業 16(9-7)6 三菱レイ

常盤は高橋を中心にした速攻を生かし、加点をする。一方三菱はコンビネーションがとれず、シュートチャンスを生かすことができず前半を終了する。

後半、常盤は桃井の得点に始まり、着々得点を重ねる。三菱の反撃は散発的で前半の差をちぢめることができず敗れる。

三菱の防衛の甘さがめだった試合であった。

全神奈川 24(15-9)9 西南ク

一回戦快勝の西南クも国体を目標に練習に励んでいる全神奈川では一寸歯がたらず、敗れ去った。神奈川は試合開始時より、速攻を生かし、米沢、池田のコンビネーションプレーで着々と得点を重

ね、リードする。

西南クはコンビがとれず、個々のドリブルを多用する結果となり、全神奈川の防衛を破ることが

### 全神奈川

### 常盤工業に敗れる！

▽準々決勝

大崎電気 19(8-13) AOK (栃木)

得003021801113

【本里上村藤山野野田口木

大福下井西近片旗竹太谷佐

得00034110102

【林瀬田屋岩合野塚沢島田

得00034110102

【小岩山板黒落中石小福宮

得00034110102

大崎は新メンバーで対したの

で、15分間はAOKは互角に戦った。井上、近藤、西村らが入ると、ゲッター旗野が良く生かされ、シュートがさえるといった調子の試合経過であった。前半で大きくリードした大崎は後半AOKの食い下りを許したが、危げなく勝利を握った。

AOKはよく戦った。脚力不足スタミナ不足という点はあったが現在の困難な状況下のクラブチームとしては実に良く健闘した。

前半にもう少し点をため、大事に試合を運んでいたならば、勝てたとはいわないまでも、試合はも

つれたであろう。

できずに終了した。

全神奈川のゴールキーパー池田の好守は一きわ光っていた。

AOKの健斗をたたえたい一戦であった。

住友化学 18(10-8)16 北陸電力 (菊本) 10-9

得004000330521

【原行代野野井嶺藤山海石

住友化学 18(10-8)16 北陸電力 (菊本) 10-9

得0000032111880

【北山島 広中吉北笹竹小野

得0000032111880

北電福井は惜しい試合をおとした。実業団の雄任化に食い下り、終始白熱の試合を展開したのは全く立派であった。

立ちあがり2点を先取した北電はもう一点の連取がはしかった。

一方住友は2点先取されたものの経験十分であり、落ちついた試合運びを見せ、ポストに入った選手を使つてのブロックプレーを多用して、その後はシューティングという経過をたどった。

後半に入っても、両チームとも互いにゆずらず、終始好ゲームを展開した。

北電が小笠原に得点源が集中し

北電が小笠原に得点源が集中し



# ミカドハンドボール

日本ハンドボール協会公認球



# ミカド商会

東京・豊島・巣鴨・7丁目1696  
TEL (941) 2635・6592

ているのは、住化のどこからでも得点できる体勢に比べるとやや難点がある。

いづれにしても準々決勝にふさわしい白勢の好ゲームであった。北電福井のようなチームがどしどし成長をとげて、球界をますます面白くしてくれるように望むものである。

地元の声援に応え、よく健闘した北電の斗志は高く評価されてしかるべきであろう。

三景 22 (1210-15) 14 奈良クラブ  
得00131566000  
景形野村名間 梨藤藤原原

【三】尾小竹江外 高内伊山河  
GK (主審) 川口

良【本宏井浦二井坊村行井村  
奈松保島三中樽中西保島木  
得004105031000  
14 (1) 7 MT (0) 22

成長いちぢるしい三景は高梨・内藤の両新人がチームにとけこみチーム力を高めているが、この試合でも、両新人がベテラン陣の巧妙なアシストによって、良く得点をした。

三景は前半セットオフエンスからボールを良くまわし、得点をあげていく。一方奈良は試合が進むにつれ、しだいに攻撃の動きがなくなり、前半は10-5のダブルスコアで終了した。

後半に入っても、三景のペース

は全く変わらず、着々加点し、差を開いていった。

奈良も時折は反撃にでるが、ミスが多く、点差つまりらぬどころが逆に開くばかりになっていった。

奈良の練習不足からくるスタミナ不足とコンビネーションの不備は大きな差となって現れた。クラブチームが現在もっている最大の悩みが現れ、実業団の軍門に降った。

常盤工業 20 (1010-14) 10 全神奈川  
得0001222111220

【全】神弘木本山沢村 達沢鉄橋  
田青正杉村中 安穴池北  
GK (主審) 佐野

常盤工業 20 (1010-14) 10 全神奈川  
得0011010600020  
20 (0) 7 MT 0 10

予想外の大差となって、全神奈川が破れた。昨年度の準優勝チームこのような形で敗れると誰が予想したろう。

クラブチームという不利な条件の中、夜に集り、黙々と練習を続け、団体一途に頑張っていた全神奈川があっさり常盤工業の前に敗れてしまった。

後半から常盤は快調にせめ、スピードある動きとこれまたスピードあるパスワークで全神奈川の防御陣をゆさぶり、決定力ある高橋のロングシュートと山田のサイド

からのシュートをきかくに決めて大差をつけた。

後半もこの調子は続き、常盤が着々と加点するのに対し、全神奈川はもちまへの細い動き、フエイ

## 大崎・三景決勝へ

住友・常盤は敗退

▽準決勝

大崎電気 24 (1113-15) 12 住友化学  
得000000040323  
住友化学  
住友化学  
住友化学

【住】成神中平松長加北落白  
崎本里上村藤山野野田口木  
GK (主審) 川口

大崎電気 24 (1113-15) 12 住友化学  
得00725121321  
24 (5) 7 MT

住化は年々力をつけ、大崎とのレベルが近づいて来つつあり、この一戦その意味において多いに期待されたが、結果はダブルスコアと聞き、いささか失望させられたというのが実感である。

前半、大崎は速いボールまわしを軸に、セットオフエンスからのポストプレーをよく生かして、得点したが、これに対する住化菊本もよく両サイドからのシュートをきめて、好ゲームを展開したが、及ばず13-7で終了。

後半は住化菊本がスタミナ切れとなり、前半のような攻撃ができ

ず、苦しい体勢からうつつシュートを阻まれ、それをそのまま速攻の糸口とされて、大崎の速攻を浴び大差をつけられてしまった。

大崎電気の一方面的な快勝ということが云えよう。この試合大崎はゴールキーパーを除くフィロドプレーヤー全員得点という攻撃を見せた。

三景 17 (8-14) 9 常盤工業  
得003111110020  
常盤工業  
常盤工業

【常】渡森 島橋板井田村野金藤  
景形野村名間 梨藤藤原原  
GK (主審) 桶家

三景 17 (8-14) 9 常盤工業  
得00000221030000  
17 (1) 7 MT (2) 9

実業団同志の争いとなった。三景は進境いちぢるしい。一方常盤も山田を新加入させて、戦力は増大している。どのような結果になるかが期待されたが、三景が速攻で得点を重ねて、一方的な勝利におわってしまった。

三景のいちぢるしい成長ぶりに目を見はるものがある。

選抜、実業団と続く大会が見ものとなる。

4日の準決勝の体育館での試合と異なり、常盤はロングシュートがほとんど決らず、逆にキーパーボールからの球出しによって、速攻をかけられ、帰らなければならぬという後手々々に廻ってしま

い、前半で5点差をつけられてしまった。三景はこれらのキーパーボールからのチャンスを高梨、内藤の両新人が良く生かし、得点に結びつけていた。

後半に入っても、常盤のシュートはいずれもキーパーの好守にはばまれ、これがキーパーボールからの尾形の好配球を呼び、これに合せる高梨を中心にするフィロドプレーヤーとの呼吸がピタリと合い、シュートが決るとい

三景の速攻がますますささえるといった経過をたどっているうちに点差は開き、試合はおわった。

常盤工業はセットオフエンス・速攻ともに準々決勝までに見られたような形のスピードがなく、三景を追いこむまでには至らなかつた。

三景のいちぢるしい成長ぶりに目を見はるものがある。

☆ ☆ ☆

# 大崎 (男子)

## 八連覇

▽決勝  
大崎電気 16 (7-15) 13 三景

得0004100440000  
景形野村名園 梨藤藤原  
【尾小竹江外 高内伊山河  
木々】 GK (主審) (岡前)  
【本里上村藤山野野田口木  
大福下井西近片旗竹太谷佐  
得007042011110

進境いちぢるしい三景はこれまで快調に試合を進め、高梨、内藤の両新人の活躍もあり、危げない試合ぶりで決勝に進出してきた。昨年のダークホースから、本年度は一やく、決勝を狙うチームに大きく成長してきた。

一方大崎電気は新旧の交替機にきていて、チーム力はやや落ち気味といわれながらも、全日本総合では数ある学生チームをなぎたおし、決勝戦では全立大に敗れはしたが、その試合ぶりは定評通りのものをもっている。

以上のような意味あいにおいてこの一戦大いに期待された。

前半、三景はミドルシュートとポストプレーを併用して、大崎を崩さんとし、一時は三景のペースで試合が進んだ。

一方大崎電気は得意の速攻がさ

えず、得点が増えず苦しんだが、だいたい調子をとのえ、前半終了時には2点のリードを保っていた。

後半に入っても、その形成は一進一退で、終始大崎がリードしている形で試合は進んだ。

大崎が本来の戦いぶりを見せ、三景ももてる力を出して、戦い、好ゲームとなった。

三景はついに前半の2点差をねかえずことができずにおわった両軍の攻守もさることながら、球趣を一層もりあげたのは、両軍キーパーの好守があった。福本・尾形ともに日本を代表するキーパーであり、互いにゆずらぬ好守を見せ、会場を湧かせていた。

三景の進境は特筆すべきものであり、今後の試合がより一層もりあがるものにならう。

▽三位決定戦

常盤工業 23 (11-11) 19 (菊本)

たちあがりから、両チーム同形のダブルポスト戦法で攻撃を行った。

(ディフェンスの差で常盤がリードして前半を終了。

常盤の攻撃では、山田、高橋がダブルポストでよっぽよによって引きおこされるディフェンスの穴をよ

# 大洋デパート二冠なる

田村紡は決勝で敗退

## 一般女子

く見て、うまく攻め、ロングシュート、たおれこみシュートを決めたのは特筆されよう。

前半の仕化の防衛は一考を要しよう。

後半戦は前半のリードに気を良くした常盤は山田のミドルシュー

トなどで完全に主導権を握り、そのまま終盤までその差を保った。常盤のスピード勝ちということ云えよう。

仕化は負傷者がたりでもてる力を十分に發揮できなかったのは惜しまれる。

終始好ゲームを展開したのは、実業団屈指の好チームだからである。

準決勝に残った4実業団の実力が近づいたことは喜ばしい。

▽一回戦  
全福井 18 (9-10) 4 (愛媛) (福井)

全福井の練習量の豊富さがものを云った一戦。特に立林のロングシュートと万のポストプレーのコンビネーションが巧くとれ、これが7MTを多く生んだが全福井にきわめて有利な試合運びとなった。

愛媛の攻撃はバックの前で一人とまるので、スピードがそれ、得点に結びつかなくなるので、これが大きな敗因となった。

ブラザー 14 (6-2) 4 (北海道) (愛媛)

ブラザー工業の大勝におわった全北海道はブラザーの強い当り負け思うように動くことができた。

かつたのが、敗因である。

ブラザーは走、投を含む全体力技術で全北海道にすぐれており、順当な勝ちで二回戦に進んだ。

大阪スタ 22 (13-4) 8 (富山) (富山)

たちあがり氷見は快調に、インターセプトからの速攻とミドルシュートによって、三点の先取をした。

大阪スタは地力に自信があり、しだいに調子をあげ、速攻、ポストプレーを織りませた多彩な攻撃で、前半で勝利を不動のものとして、そのまま後半を押しきった。

全岩手 11 (5-4) 6 全広島 (6-2) 6

前半は一進一退の互格の形成で試合は進んだが、チームプレーに若干のまとまりのある全岩手が一点先行して終了。

後半に入ると、岩手のチームプレーがますますまとまりを見せ、点差を拡げていった。

対して広島はコンビネーションがとれず、加えて守勢に立ち、自滅した。岩手の順当な勝利と云えよう。

▽準々決勝  
田村紡 20 (12-11) 4 全福井 (三重)

得00121453040  
村美上村好谷林水村開信林  
【田渡坂種渡水小清甲吉渡若  
GK (主審) (岡田)

【福井】方田 端林 木海田川田  
【山石】池立 高内土細友  
得00002000101  
4 (0) 7MT (1) 20

試合開始直後、前半10分までのすさまじいばかりの全福井の斗志が試合をもちあげたが、しだいに田村のペースとなり、ポストプレ

1、ブロックプレーなどを盛りこんだ多彩な田村の攻撃がしだいに功を奏し、点差は拡がっていったのはやむを得まい。

福井はもう少し、ロングシュートを使って見たらと思ったが、後半になると、田村紡の一方的な攻撃の前にあえなく敗れさった。力の差はいかんともしがたいという戦いぶりであった。

三菱鉛筆 11(5-4)7  
工業

【安】井朝鹿桶家近五堀日  
【工】谷 上倉島田田藤嵐田浦  
【GK】田庄田木野合洋川房部見  
【FP】(主審)若山  
【三】吉本三鈴姫落佐江阿連  
得0001226010001  
11 (2) 7MT (1) 7

シュート力に勝る三菱は自軍ベイスをくすくす着実に加点了。ブラザー工業はセットオフエンスからの攻撃に今一步の鋭さがたらず、また帰陣の遅さをつかれ、落合らの速攻を許し、自滅してしまつた。

走力、シュート力の差が勝敗を決した。四強につくチームに成長が楽しみにされていたブラザー工業も今一步のところまで来たという感じである。将来の成長を望みたい。

大崎電気 15(8-1)6  
全岩手 (埼玉) 7-5

【岩】百枝谷島 櫻野島岡  
八熊中関八金似葛  
【GK】藤川木野幡野崎林浦  
【FP】(主審)岡田  
【大】加早鈴木中山栗三  
【崎】向 20061220002  
【大】20061220002  
15 (1) 7MT (0) 6

東京女体大の熊谷、中島のコンビをもつ岩手も練習量豊富な大崎の体力、スピードの前にはなすところなく前半をおわつた。

後半、全岩手の反撃が見られ、やや試合を面白くした。後半の調子が前半からでていれば惜しまれる。全岩手の試合を捨てない後半の粘りとガンバリは賞されようが、攻撃方法が単調であったため、大差で敗れた。

### 三菱・大崎敗退す

▽準決勝  
田村紡 17(9-1)3  
三菱鉛筆 得001012010003  
【三】吉本三鈴姫落佐江阿連  
【GK】(主審)岡田  
【FP】(主審)岡田  
【美】上村好谷林水村開信林  
【村】美上村好谷林水村開信林  
【田】美上村好谷林水村開信林  
得004122522010  
17 (1) 7MT (2) 8

田村紡は前半速いパスワークと速攻で三菱の防御を乱し、大差をつけた。一方三菱は攻撃が単発におわり集中的な力を発揮できなかった。後半も田村の一方的なペースで試合は終了した。力の差はかなりあるように考えられる。三菱の奮起を望みたい。

大洋デパ 19(10-0)6  
大阪スタ (熊本) 10-6

【大】村口村井崎川口子川田  
【阪】村口村井崎川口子川田  
【辻】中北北田山古山保吉吉  
【GK】(主審)関川  
【FP】(主審)関川  
【洋】部原保 辺場水尾宅枝田  
【大】安小新 渡射垂枝三下島  
得00353134000  
19 (0) 7MT (0) 6

力の差がはつきりと表れたゲーム。大阪は北口、北村が動くだけのため、シュートチャンスを生かせずに前半を零封された。

後半に入り、大阪は大洋のメンバーチェンジの間をぬって、6点を入れたのは善戦といえよう。大洋は速攻からもセットオフエンスからの、多彩な攻撃をかけ、防御の甘い大阪のディフェンスを好きになようにかき廻し、大勝をした。

### 三菱・大崎敗退す

田村紡は前半速いパスワークと速攻で三菱の防御を乱し、大差をつけた。一方三菱は攻撃が単発におわり集中的な力を発揮できなかった。後半も田村の一方的なペースで試合は終了した。力の差はかなりあるように考えられる。三菱の奮起を望みたい。

田村紡は前半速いパスワークと速攻で三菱の防御を乱し、大差をつけた。一方三菱は攻撃が単発におわり集中的な力を発揮できなかった。後半も田村の一方的なペースで試合は終了した。力の差はかなりあるように考えられる。三菱の奮起を望みたい。

大洋デパ 12(6-1)2  
田村紡 得00221100010  
【美】上村好谷林水村開信林  
【村】美上村好谷林水村開信林  
【田】美上村好谷林水村開信林  
得00133032000  
12 (4) 7MT (1) 7

【大】安小新 渡射垂枝三下島  
【洋】部原保 辺場水尾宅枝田  
【GK】(主審)岡田  
【FP】(主審)岡田  
【崎】藤川木野幡野崎林浦  
【大】加早鈴木中山栗三  
得001120210000  
7 (0) 7MT (1) 9

大崎は惜しい試合をおとした。前半大洋が大崎のディフェンスを攻めあくむ間に大崎は点差をつけ前半を終了したが、後半に入ると大洋は持ち味のフェイントプレーを存分に使い、大崎のディフェンスをゆさぶり、逆転勝ちをはした。大崎は今一步の所までいきながら、ついに決勝戦に出られなかった。

▽決勝戦  
大洋デパ 12(6-1)2  
田村紡 得00221100010  
【美】上村好谷林水村開信林  
【村】美上村好谷林水村開信林  
【田】美上村好谷林水村開信林  
得00133032000  
12 (4) 7MT (1) 7

洋はミドルシュート、ポストプレーと自由な攻撃を行い田村紡の防御陣をまどせ、得点をあげた。これに対し、田村紡はエリア前でのリターンパスが小さく、大洋の出足のよいつぶしに合せて、鋭



一般女子決勝(光島磯雄氏撮影)

大洋は夏の全日本総合に続いて二冠を得た。久しぶりの真の意味での四強の激突は、大洋がおちついた試合ぶりで栄冠をにぎることとなった。選抜・実業団と続く争いが見ものとなる。この試合7MT、退場者ともに多数見られたのは一考を要そう。▽三位決定戦

大崎電気 9(4-1)3  
三菱鉛筆 両チームとも気抜けしたのか本来の姿を忘れ、ロングシュートに頼りすぎたため、興趣をそがれた三菱のシュートが大崎の攻撃をさ



そい、これが得点と結びついたのが、両者の勝敗の別れめとなった。

# 選抜勢強し

## 決勝は全静岡—兵庫選抜

### 高校男子

▽一回戦

新居浜工	8	5
(愛媛)	0 1 1 1 3	2 1 3 4
	0 1	8
		小杉高
		(富山)

#### 抽せん勝ち

前半両チームともこれぞというチームプレーができず、小杉のロングシュートの決定力が勝負をつけるかに見えたが、後半14分に小杉は追加点をあげ、その後、小杉は気のゆるみが見られた。

そこに新居浜工はつけこみ、後半20分前後にたてつけゲットし、7-7で延長戦に入る。  
延長後も1点ずつをあげ、8-8の同点、抽せんになり、新居浜工が勝利を得た。

両チームとも勝敗にとられ、後半に入ってから、雑なディフェンスになり、粗暴な行為の見られたのは残念である。  
熊本選抜 12(8-7)8 (茨城) 麻生高  
前半はとりつ、とられつの一進

一退をくりかえしていたが、熊本選抜はしだいに選抜特有の個人技を発揮した。一方麻生も体力・走力を生かして、十分な力を出したが、熊本は一点リードして、前半をおわる。

### 下関中央早くも敗退

▽準々決勝  
新居浜工 11(5-1)8 下関中央  
工(山口)

得点 0 0 1 3 0 0 0 3 0 4 0  
野色 藤木 谷治 石明 辺井 本  
【新小】 加松 藤白 藤渡 喜橋  
得点 0 0 2 0 0 6 0 0 0 0 0 0  
徳村 井浦 田川 井谷 谷村 島  
【GK】 川口 (主審)

敗れた。  
前半新居浜工はポストをうまく生かした攻撃が成功した。  
一方中央工は全くシュートが決らず、僅かに中川の1点にとどまった。  
後半中央工はサイドから攻撃を

後半は、両チームとも、ディフェンスが荒くなり、退場者を出した。麻生はノーマークシュートのチャンスがしばしばあったが、熊本のゴールキーパーの再三の好守にはばまれ、敗れた。

かけ、これによって得た7MTを決めて反撃に出、新居浜の選手の手退場の間をぬって追いあげたが、新居浜も巧くシュートを決めたためついに追いきれなかった。  
羽水高 10(6-3)9 全北海道  
【福井】 10(4-6)9 全北海道  
得点 0 0 1 2 2 0 2 1 0 0 1  
田木 野中 本谷 林村 藤藤 藤谷  
【北道】 上鈴 小山 山東 小沢 佐加三  
【GK】 川口 (主審)

得点 0 0 1 1 2 1 2 3 0 0 0  
【福井】 中路 村井 下川 木田 川野 藤  
【福野】 田野 中村 谷吉 佐塚 古坂 加  
前半の福井セットオフエンスが良く決まっていた。全員のむだのない動きが北海道の防禦をゆさぶり、北海道に差をつけた。

後半北海道は追いあげ、福井のミスをついて一時は同点にまでこぎつけたが、福井のサイド攻撃が功を奏し、福井はベスト・フォアに残った。両チームの健闘がたえられよう。

兵庫選抜 18(13-5)5 全山形  
得点 0 0 1 0 0 2 0 2 0 0 0 0  
藤越 里司 田柳 江賀 津瀬 辺  
【山形】 佐大 中庄 柴青 大芳 戸長 渡  
【GK】 関川 (主審)

兵庫は長身選手をうまく生かしロングシュートとポストプレーをいかして攻めた。  
山形は動きに変化なくシュートミスから反撃された。特に後半は兵庫に速攻とロングシュートをつけてつづけに攻撃され、大差になった。

全静岡 16  
7 4 7 4  
: 1 1 6 5  
2 3 1 1 0  
12 熊本選抜

得点 0 0 0 1 3 3 3 2 0 5 1 1  
岡切 村崎 英月 辺昇 田山 川広  
【静岡】 森新 岩杉 望渡 杉池 片長 杉  
【GK】 佐野 (主審)

得点 0 0 1 1 7 0 0 0 1 1 2 0 0  
【熊本】 川水 臣上 沢本 本 俊田 本  
【柳清】 竹田 古坂 吉 関下 竹高 宮  
12(2) 7MT (1) 16



# ミカサボール

## ハンドボール

**MG** ミカサボール  
明星ゴム工業株式会社

熊本、静岡ともに防御があらく互に自己の力を出しきれず、荒れた試合になったが、熊本は後半になり、静岡の大きくふるセットオフエンスにつききれず、延長戦に入ってからスタミナ不足のためか、動きが悪くなり敗れた。延長戦の割には凡戦であった。

▽準決勝

兵庫選抜 17 (9-17) 11 新居浜工  
得00254101400  
庫藤岡山恒口田川津光井

【伊吉松横林川前淡野林石】 GK  
野色藤木谷治石明辺井本  
【新小一加松森藤白藤渡喜橋】 FP  
得00022102240200 11 (1) 7MT (0) 17

新居浜工の速攻に対する兵庫のセットオフエンスと両者たがいによずらぬ白熱の戦いに前半は経過した。しかし、兵庫は長身の選手が放つ左右の45度附近からのシュートが良く決り、これが新居浜工を最後まで苦める結果となった。

兵庫は選抜もてる長所を十分に發揮し、決勝に進出した。長身選手を集めたその攻撃力は一級であった。

全静岡 19 (8-14) 10 羽水高  
静岡の勝因の第一にあげられるのはまず速攻であろう。羽水は開始早々にゲットしたが、その後は

静岡のディフェンスをくずせず得点のチャンスをついていった。

得00130510621  
岡切村崎英月辺昇田山川広  
【森新岩杉望渡杉池片長杉】 GK  
静新岩杉望渡杉池片長杉

【羽野中村谷佐塚古坂加】 GK  
中路村井下川木田川野藤  
得005203000000 10 (4) 7MT (1) 19

全般的に云って羽水のディフェンスの甘さもあつたが、静岡の渡辺、片山のロングシュートが効果的に決つていたことが第二の勝因であろう。



高校男子 全静岡—羽水高の戦い (福井新聞社提供)

▽決勝戦 第二延長の末静岡に

全静岡 20 (7-7) 10  
4020114  
1021204  
18 兵庫選抜

得0044442130000  
庫藤岡山恒口田川津光井  
【伊吉松横林川前淡野林石】 GK  
岡切村崎英月辺昇田山川広  
【森新岩杉望渡杉池片長杉】 FP  
得00051200750 20 (4) 7MT (0) 18

白熱して、結局第二延長にまでもつれこんだ一戦となった。両軍ともに各選手は十分な個人技をもちあわせていて、それが軸になる攻撃に終始した。これは混成チームということからくるのであろうが、攻防ともに十分な個人技の基礎の上になつた

菊地農圧倒的強さ

二・三・四位には選抜チームが入る

高校女子

▽一回戦

全北海道 6 (3-3) 5 山陽女  
312 (広島)

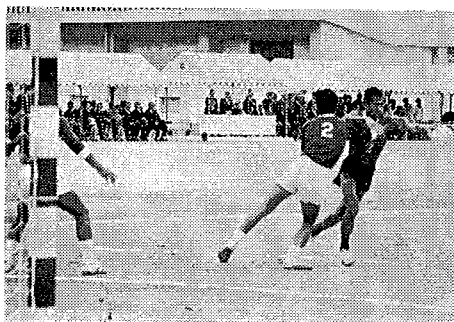
緒戦のため、両チームとも動きが少なく、力をだしきれずにおわってしまった感があつた。

チームプレーが望まれよう。このように今年度の高校男子は選抜チーム同士の決勝戦となつたことは、今後の国体のチーム編成の上に大きな問題を投げかけよう。つには、明るい話題ともいえよう。今後の日本ハンドボール界を背負う若い力が混成チームになつても十分に力を發揮できるといふのは、ナショナルチーム、ジュニアナショナルチームを編成する上においても明るい話題といえる。

▽三位決定戦

羽水高 10 (4-2) 7 新居浜工  
615 (7)

スタートはどちらにもかたさがあり、一進一退となつた。後半になり、羽水のミドルシュートがポイントプレーと合せ生き、着々加點新居浜は喜井が完全にマークされ



高校男子 羽水高—新居浜工の戦い (福井新聞社提供)

できなかった。

後半に入ると、全静岡は疲れをしらぬ速い動きとミドルシュートによって点差を開いた。

静岡の足とシュートが勝因の第一であった。

▽準々決勝

全静岡 10 (3-3) 7 小松市女  
714 (石川)

前半は両チームともに速い動きを見せて、多くのチャンスを作つたが、決定力なく、あまりものに

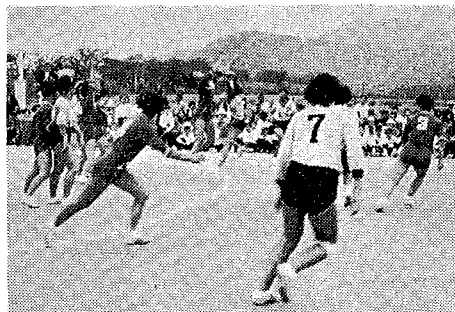
得00152202000  
池田川中上田尻 田上口  
【松中村村蔵水田 鶴磯原】  
GK (主審) 桶家  
FP (主審) 桶家  
【北海】田瀬保川地浪藤田田尾  
【高】中阿小菊藤後蘇米柴西  
得003000000001  
4 (0) 7 MT (0) 12

本年度圧倒的な強さでインター  
ハイを征した菊池農。団体でもそ  
の強味は発揮された。  
菊池農は試合開始当初より得点  
を重ねた。北海道は終始同じ攻め  
をして、菊池農のディフェンスを  
くずれなかった。菊池農はダブル  
ポストからの攻撃がきわめてさ  
えほとんど成功していた。チームプ  
レーの勝ちといえよう。

全岩手 5 (1 | 0) 1 福井選抜  
得00020002010  
【野成口川せ好間橋井島真】  
手原田原田真  
【坂】小山盛鎌小岩高照中鎌  
GK (主審) 河本  
FP (主審) 河本  
【林島谷田口木野田保山田】  
井小大中黒谷鈴静高久杉森  
得000001000001  
1 (0) 7 MT (0) 5

両チームともにスタートはすこ  
ぶる悪かった。特に福井は再三の  
ノーマーケットを失敗して、  
得点を逃がしていた。  
福井はシュート力はあるように  
思えるが、どうも細かいプレーに  
欠け、得点を逃がしていた。前半両

チーム合せて僅か1点という拙攻  
であった。  
後半に入ると、岩手がよく走り  
多彩な攻撃を見せて勝利を手にし  
た。福井は前半の拙攻が惜しまれ  
た。



高校女子の熱戦(福井新聞社提供)

千葉選抜 8 (4 | 2) 5 (京華女高)  
得003120010001  
【村口子塚見 井川谷方藤】  
葉御金大蓮 荒安塩行齋  
【戸】御金大蓮 荒安塩行齋  
GK (主審) 桶家  
FP (主審) 桶家  
【本上田 脇井田村島本浅】  
華北井山 宮今福木上坂湯  
得0002000120000  
5 (1) 7 MT (1) 8

関東地区を選抜の力で勝ちぬい  
た千葉、関西地区からの精華の対  
戦。  
ともに精彩なく凡戦であった。  
とにかくシュートまでのつなぎを  
なんとか形作った千葉が精華を押  
え、勝利を握った。精華にもう一  
息のガンバリと気力が望まれると  
ころである。

全静岡 7 (2 | 1) 3 (愛媛) 新居浜高  
得000100200000  
【高】条原部中塚藤本部村 実  
【新】西小磯田大加山曾金 森  
岡洋木恵田永山藤田垣藤野  
【服】部内松下首久稲加海  
【静】部内松下首久稲加海  
得00030011002000  
7 (0) 7 MT (0) 3

前半は1点を争う好ゲームとな  
り、互いに速攻を出しあう面白い  
展開になった。新居浜はキーパー  
の好守があり、静岡はディフェン  
スの力が主になって、なかなか得  
点はあげられなかった。  
後半になると、静岡は前半に比  
べると細かいプレーがシュートに  
つながるようになり、着々と加点  
し、新居浜高をひきはなした。  
新居浜高はインターハイに見せ  
た加藤・山本コンビが得点をさし  
てあげられなかったのが苦戦の因  
となった。

全静岡 9  
得0005101110001  
【静】部内松下首久稲加海  
【服】部内松下首久稲加海  
【岡】洋木恵田永山藤田垣藤野  
【静】部内松下首久稲加海  
得0041000000063  
8 (2) (1) 9

▽準決勝  
菊池農 11 (4 | 1) 2 全岩手  
得0041000000063  
8 (2)

得0002000000000  
【手】野成口川せ好間橋井島真  
【岩】坂小山盛鎌小岩高照中鎌  
池田川中上田尻 田上口  
【菊】松中村村蔵水田 鶴磯原  
得00501212000000  
11 (1) 7 MT (0) 2

菊池農は強い。攻撃もさること  
ながら、ディフェンスは抜群にす  
ぐれている。  
菊池農は速攻ともち味のポスト  
プレーで多彩な攻撃ぶりを見せて  
着々加点する。  
一方の岩手は単調な攻撃しかな  
いので、凡シュートしか打てず、  
菊池農の前にあっさりかぶとをぬ  
いだ。  
技術・走力などすべての点に勝  
る菊池農の圧倒的な勝利であっ  
た。

全静岡 9  
得0005101110001  
【静】部内松下首久稲加海  
【服】部内松下首久稲加海  
【岡】洋木恵田永山藤田垣藤野  
【静】部内松下首久稲加海  
得0041000000063  
8 (2)

▽準決勝  
菊池農 11 (4 | 1) 2 全岩手  
得0041000000063  
8 (2)

日本ハンドボール協会検定球

# モルテン

## 亀甲型 ハンドボール

MOLTEN No.5 BALL

MOLTEN 工業株式会社  
広島・東京・大阪

チーム特有の個人技を發揮し、互いにゆずらない熱戦だった。チームプレーがない点は今後の課題となるるか、選抜チームの良さをどちらにも出しての一戦であった。

▽決勝戦

菊池農 11(3|0)3 全静岡

得00001010101000  
岡部 洋木 恵田 永山 藤田 垣藤 野  
静部 保部  
【服部 内松 下首 久福 加海】  
GK (主審) 関川  
PF 田川 中上 上田 上尻 田 上口 剣  
池 菊松 中村 村藏 水田 鶴 積原  
得003231020000  
11(1)7MT(0)3

前半は菊池村中のロングシュートによつてリードする。後半に入り、静岡も散発的に得点をかえしたが、菊池農の厚いディフェンスにあいシュートチャンスを作るのがむずかしく、菊池農の堅城の前に敗退した。

菊池農はこの試合は速攻とロングシュートを主武器に戦い、オリジナルな強さを見せた。インターハイ、国体を通じ、試合を除き、10点以上の得点を出し、いずれもダブルスコアに押えこんだ菊池農の力は抜群である。監督・選手の努力の賜である。

# 大阪イーグルス雪じよくなる

## 決勝は教職員と同じ顔合せ

### 教員 男子

▽一回戦

熊本教員 26(18|5)13 香川教員

香川はゲッター石原とともに攻められる選手がいなかったため、攻撃がとぎれ、チャンスをつぶしていた。熊本は全員の動きが良く、攻守・走ともにそろい、一方的ゲームとなった。

▽三位決定戦

千葉選抜 6(24|0)1 全岩手

先取点は岩手がとつたが、その後には全く得点がとれず、千葉に同点にされたあとは千葉のペースで試合は進んだ。

脚力・シュート力に一日の長が見られた千葉の順当勝ち。金子の活躍が特に眼についた。

皇后杯順位 ① 熊本(女子二部)門優勝は第17回の熊本以来  
② 岩手、③ 静岡、三重、  
⑤ 埼玉、千葉、⑦ 神奈川、福井。

岩手教員 15(6|7)5 静岡教員

抽せん勝ち

ポイントゲッターを中心にしたじっくりとした攻めあいでシーソーゲームとなる。ブロックプレーをなど細いプレーをおりませ、巧みな試合運びであった。延長戦に入っても決らず、岩手が幸運の勝ち星を引いた。

▽準々決勝

埼玉教員 17(16|7)15 熊本教員

得0000150353  
玉橋 保子 枝田 井勢 城戸 田  
【高上 金三 松北 多結 高 高】  
GK (主審) 平田  
PF 田海 田田 脇田 田原 井住  
本 田津 元谷 沢松 竹平 森 住  
得002403004022 15(0)7MT(1)17

両チームとも全く互角の形勢。多彩な攻撃を見せてシーソーゲームの展開であった。埼玉は冷静に試合運び、やや難点のある熊本の

のディフェンスをつき、勝利を得た。熊本教員の成長は明るい話題となる。

福井教員 23(14|6)14 岡山教員

得00021070301  
山上 宅川 戸西 上越 日本 林 井  
【井三 石桶 大川 給田 藤竹 永】  
GK (主審) 岡村  
PF 田立 野下 崎野 野内 田島  
福井 田立 野下 崎野 野内 田島  
得002100018614 23(2)7MT(4)14

前半ゆっくりしたベースの岡山やや速いベースの福井と対照的な試合運びで9-8。後半疲れの見えた岡山に対し、福井のブロックプレーを基調にしたポスト・サイド攻撃が功を奏した。

富山教員 13(5|8)3 函館教員

得00151122100  
山田 田田 見元 山木 木平 前原  
【上宮 京永 秋中 古安 越金】  
GK (主審) 平田  
FP 藤本 田野 上橋 崎波 井藤  
館川 藤本 田野 上橋 崎波 井藤  
得000411411100 12(0)7MT(0)13

先取点をとり、スタートは良かったが、パスワークが乱れたところを富山につかれ、前半は6-3。北海道は後半になり調子をとりもどし、追いあげ延長

戦にもちこむ。

延長後は常に富山が先手をとる。そつなく勝利をものにした。

大阪イーグルス 29(17|12)11 岩手教員

得001300007  
野島 野田 藤沢 原田  
【石海 中宮 高加 足小 増】  
GK (主審) 岡村  
PF 阪 浜 島 東 上木 岡藤 尾村 井塚  
大 奥 井 青 北 加 松 木 福 檀  
得00333152237 29(0)7MT(2)11

大阪は慎重なスタート。技術、コンビともにならず、ミスもほとんど見られず大差をつけた。一方の岩手は増田一人に頼らざるを得ず、増田が7点を挙げ、わずかに面目を保った。

▽準決勝

大阪イーグルス 33(18|15)13 富山教員

得00242111002  
山田 田田 見元 山木 木平 前原  
【上宮 原永 秋中 古安 越金】  
GK (主審) 日野  
FP 阪 浜 島 東 上木 岡藤 尾村 井塚  
大 奥 井 青 北 加 松 木 福 檀  
得00435013494 33(1)7MT(0)13

富山は開始直後はよく大阪に食い下り善戦。サイド攻撃が主体で得点をあげる。しだいにイーグルスのペースになり、もち味を生かした多彩な攻撃を發揮し、決勝に進出を決める。

埼玉教員 20 (1010 | 18) 15 福井教員

得001111004206 田田立野下崎野内田島

【越竹華竹森塚鶴坂小福田】

GK (主審) 岡田

橋保子枝田井勢城戸田

【高上金三松北多結高高】

得0001160516 福井は埼玉のゲッター北井をマ

ークしたが、それが不十分であつ

たため得点を許したのが第一の敗

因となつた。福井は埼玉のディフ

エンスの穴をよくつき、おいこん

だが、北井のマークの甘さで許し

た得点を返すに至らなかつた。

▽決勝戦

大阪イー 18 (108 | 6) 14 埼玉教員

得00001550305 橋保子枝田井勢城戸田

【高上金三松北多結高高】

GK (主審) 岡田

上木岡藤村尾井塚

【大奥東 井青北加木松福楳】

得00245010051 18 (2) 7 MT (1) 14

ここ数年、教員界を分けている  
両チームの対戦となり、教職員優  
勝の勢いで埼玉の二冠なるかとい  
う点に興味もたれた。大阪はこ  
の大会慎重な試合運び。この試合  
を大阪はブロックプレーを多用し  
て、それを得点に結びつけ、教職

員の雪じょくをとげた。  
▽三位決定戦

福井教員 28 (1711 | 5) 12 富山教員

一般男子では、大崎電気・住友  
化学・KK三景のシードチームは  
順調に勝ち進み、全神奈川は実業  
団の新鋭常盤工業に惜敗した。決  
勝は大崎電気とKK三景、昨年の  
埼玉団体の時と同じ顔合せとなつ  
た。KK三景は尾形をGKに戻し  
て緒戦から必勝の構えで勝ち進ん  
できた勢いをこの決勝戦に遺憾な  
く發揮し、積極的に攻め、随所に  
好プレーを見せたが、大崎電気は  
除々にピッチをあげ決勝戦にふさ  
わしい大接戦を演じ大崎電気の8  
連勝で終つた。両軍GK福本、尾  
形共によく試合が一層引立ってよ  
かつた。

住友化学菊本が加藤・GK李原  
が外傷によって欠場したが、よく  
面目を保って敢闘したことはほめ  
てよい。  
一般女子は田村紡績・三菱鉛筆、  
大崎電気、大洋デパートの4強の  
争いとなり、クラブチームは大  
差で敗れ、決勝は、大洋・田村紡  
績の間で行われ、天覧試合とも思  
われない活潑な試合が展開され  
た。大洋デパートは田村紡績の上立  
がりを強く攻めてリードを奪い、  
後半立直りを見せた田村紡績のベ  
ースもGKの好守により阻止され、

三位決定戦にありがちな元気の  
ない試合であつた。福井は富山の  
ミスに乘じ、速攻をかけ、点差を  
開き、見事に三位を獲得した。

日頃見せてくれたリターンパスや  
鋭い切込みが見られず大洋デパー  
トに屈した、大洋デパートは三回  
目の優勝を遂げた。

教員男子は予想通り大阪イーグ  
ルスと埼玉教員クラブの間で、決  
勝三回目の対戦となつた。過去一  
勝一敗のあとをうけて、一進一退  
のシソーゲームを展開したが、  
大阪はソツのない攻撃でリードで  
緊迫の中にも余祐のある試合を見  
せて5回目の優勝で3連勝した。  
高校男子は、本年より混合チー

富山は中央にボールを集め、そ  
こから狙うといった動きだったが  
自滅した。

わしい熱戦が展開されて全静岡が  
初優勝をしたわけであるが、混合  
チームづくりにも今後の課題があ  
るように思われる。

高校女子では、男子と同じく単  
独、選抜の比率は同じく5対5で  
あつたが、インターハイに抜群の  
強さを發揮した菊池農高が危なげ  
なく地力を發揮して4度目の優勝  
をした。  
一般では、クラブチームと実業  
団、高校では単独と混成がこの大  
会における見どころで今後の進め

### 第23回国民体育大会秋季大会 ハンドボール競技総評

審判長 嶋田 新太郎

ムが認められ単独チームと混成チ  
ームの比較が焦点となる試合でも  
あつた。たまたま今大会で10チー  
ム中単独チーム5、混成チーム5  
であつたが、結局インターハイの  
覇者下関中央が新居浜工業に敗れ  
る番狂わせがあり、兵庫選抜、全  
静岡の混成選抜チームの対戦とな  
つた、両チーム共に単独単発シュ  
ートによる得点が大半でセットプ  
レーが全く見られず、試合内容に  
は見るべきものが少かつた。しか  
し延長に延長を重ね決勝戦にふさ

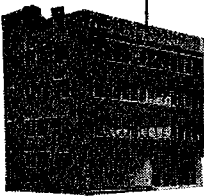
地元福井県チームは、各種別に  
大いに頑張る教員、高男の3位、  
一般男子の健斗で総合3位を獲得  
されたことは賞讃してもよい。  
又この大会全般を省みて、競技  
場の整備は万全を期され、3日目  
の雨天の際は、高浜町、青郷小体  
育館の2会場で、なんらの支障な  
く運営できたことは大変よかつ  
た。  
第4日目はハンドボールとし

- 天皇杯順位 ①熊本 ②埼玉  
③福井、④静岡、⑤愛媛、大阪、  
⑦岩手、⑧神奈川、北海道 ⑩兵  
庫、三重、東京

最終この大会に采配をふられた  
浜田町長、実行委員長の小見山助  
役その他の各役員の皆様方の努力  
には敬意を表したい。  
又競技役員は今までになく熱心  
で、多少問題があるかも知れない  
が、決勝戦までゴールジャッジを  
してもらつたことはよかつた。  
しかし、国体が都道府県対抗で  
あるために、県役員、監督、選手  
が異状な興奮状態に陥ることは  
わかるが、ベンチにおける発言に  
も限度があるのではないか、特に  
判定についての不服をいろいろな  
表現で示す監督が多いのが目立  
つた。

尚教員決勝における両ベンチの  
発言は限度を越えて残念であつ  
た。  
いづれにせよフェアプレーの  
精神を發揮するこのゲームで役員  
も同じ気持ちで参加することが必  
要でなからうか。

本社新社屋



営業三課 / 打林行夫



パーフェクトはたくさんの方の賞賛の言葉をいただきました。よい製品をつくる励みになります。

パーフェクトは夢の印刷機  
(全自動)です。  
超薄紙から厚紙まで、忙しい  
人手の足りない工場に大好評。

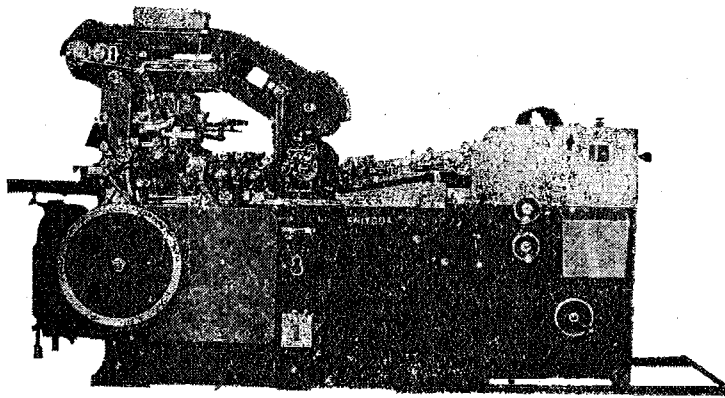
営業一課 / 庄司政雄



営業三課 / 栗田満夫



チヨダは印刷機材の合理化を推進する  
総合メーカーです。



新製品 **パーフェクト** 全自動B四裁凸版印刷機



千代田印刷機製造株式会社  
千代田印刷材料製造株式会社

本社 東京都千代田区神田猿樂町1-4 TEL 東京(292) 2011 (代) ~8  
横浜支社 横浜市西区高島通り1-7 TEL 神奈川(045) 44-6572・7358・7028  
福岡支社 福岡市御供所町3番16号(聖福寺前) TEL 福岡(28) 3960・0153  
立川工場 東京都昭島市東町1丁目1番地5号 TEL 立川(0425) 2-2470・4383  
九州工場 佐賀県小城郡牛津町(牛津駅前) TEL 牛津 72

横浜支社



# 臨時評議員会、理事会

## 10月4日・2日福井県高浜町

### 理事会

臨時理事会は43年10月2日16時30分から高浜町「余米」で3時間にわたって開かれたが、出席者が定足数に満たないため、話し合いの会とした。

まず総務局から各大会の成績、IHF総会、世界選手権大会について報告があり承された。

ついで事業局から、企画委員会の基本方針について説明、中学校指導要領についての説明、渉外部の報告がなされた。

競技局からは審判部、技術部、普及部についての報告がなされ、了承された。

JOC委員会の報告があったが主題はユニバシアード、オリンピック関係のことであった。

国体委員会の報告は、第26回(昭和46年度)国体が和歌山県に決定したことが報告された。

競技力向上委員会からの報告は今年度予算などについてであった。

次いで予定されていた協議事項に入り、42年度試算表(別掲)が了承された。

44年度行事予定に關連して、全日本教職員連盟を設立したい希望が出された。

行事日程は完全に決定されてはいるが、いづれ全面的に決定されることになる。

### 評議員会

ついで臨時評議員会が43年10月4日午後4時40分から2時間におたつて、高浜町「余米」で開かれた。この評議員会も定足数に達せず、種々の問題について、討論されるにとどまった。

まず、ソ連が開催して行なわれる国際女子ハンドボール選手権大会について、種々の論議がかわされたが、種々検討すべき事項が多いので、その検討事項を解決してから決定することになった。

来年度の国際試合は種々の情勢がかわり、未だ検討すべき問題が多いので、次回に決定することとし、今回は保留とされた。

体協評議員には、西副会長が推薦された。

鈴木前会長を協会顧問に推薦する意向も示された。

また数原洋二、徳永陸繁両理事の辞任と田中滋章、久田曉両氏を理事に推薦することも話しあわれた。

社団法人化についても、準備委を中心にして推進することが申し合わされた。

以上の事項は出席評議員の間では、一応の了解点に達しているが、なお正式の決定にはなっていない。

## 全国理事長会議開かる

### 10月2日高浜町

このところ恒例となっている

国体時の全国理事長会議が今年も国体開催地である福井県高浜町「余米」に於いて、10月2日に開

催された。

現今、内外ともに種々の困難な問題が山積している時に当り、種々の問題について積極的な意見が

交換された。

直接、日本のハンドボール界の執行に当たっている日本協会と現場の第一線の細い指導に当たっている県協会の理事長との間に小さいことでも、誤解や意志の疏通を欠くことがあってはいけない。

また日本協会の施策の中に、地方の声をもちこみ、それを基にした立案をしなければいけない。

また地方協会では、日本協会が何故このようなことをするのか十分に理解し、その方針を十二分に理解した上でないと、どのようにしていったらよいが判らない場合も出てくることもある。

そういうことのないように、たく、速いパイプが通っていることは必要である。

そういう意味において、この全国理事長会議はそこに集った諸氏が一緒に食事をしながら、ザックバランスに腹を見せあった話ができるというので、大いに効果をあげている。

それだけではない。各地に於ける種々の難問を互いの体験を語りあいながら、互いに解決できるといふ利点をもっている。

一年に一度こうした会合がもたれて、親交を深めることは大いに良い結果になることだろう。

この集りが現在のような形で続き、日頃思っていることをどしどしフランクに話し合える機会をも

てることは、ハンドボール界の今後にとって、大いにプラスになることだろう。

来年は今年より多くの人々が集れるように願ってやまない。

### 出席者名簿(敬称略)

- 北海道協会理事長岡田豊夫、岩手県協会常任理事太田利彦、佐々木茂喜、福島県協会理事関川正道、埼玉県協会常任理事遠藤健次、東京都協会理事佐野和夫、長野県協会常任理事加藤雅之、静岡県協会理事片瀬喜代治、岐阜県協会理事高井勝勇、福井県協会理事藤仁和、同副会長関捨男、同理事長中村九郎右衛門、同常任理事西島喜代治、東哲郎、石川県協会理事若山博、富山県協会常任理事桶家寛、三重県協会理事長中根武彦、京都協会理事岩本定男、奈良県協会常任理事久保田広次、和歌山県協会常任理事山田進、広島県協会常任理事平田幸男、山口県協会理事安部有二、愛媛県協会常任理事河本武夫、福岡県協会常任理事日野博、熊本県協会理事長藤田八郎、長崎県協会理事長松村守、日本協会荒川清美理事長、山田計、久田曉、浜田猪三郎、田中滋章、岡村昭二常務理事

総合貸借対照表

昭和43年3月31日

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金	11.423	仮受金	1.110.685
当座預金	3.539.201	(一般会計)	(95.085)
振替貯金	896.865	(機関誌会計)	(1.015.600)
定期貯金	4.479.206	未払金	120.000
(銀行)	(479.206)	(国際大会会計)	(120.000)
(郵便局)	(4.000.000)	預り金	806.643
未収入金	(1.669.155)	(一般会計)	(806.643)
(一般会計)	(252.800)	後期繰越金	10.140.092
(機関誌会計)	(344.000)	(一般会計)	9.191.337
(オリンピック)	(3.600)	(全日本会計)	1.062
ク基金会計)		(国際大会会計)	947.693
(対全日本会計)	(1.062)	計	
(国際大会会計)	(1.067.693)		
後納保証金	50.000		
仮払金	1.531.570		
(一般会計)	(1.531.570)		
合計	12.177.420	合計	12.177.420

総合収支計算書

昭和43年3月31日

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
一般会計	6.396.227	一般会計	6.330.170
機関誌会計	2.688.749	機関誌会計	2.309.500
対全日本会計	977.338	対全日本会計	978.400
国際大会会計	7.778.307	国際大会会計	8.726.000
小計	17.840.621		
当期収支差額	503.449		
(一般会計)	△445.306		
(国際大会会計)	947.693		
計			
(対全日本会計)	1.062		
合計	18.344.070	合計	18.344.070

42年度収支計算書

(機関誌会計) 収支計算書

昭和42年度 (自昭和42. 4. 1 至昭和43. 3. 31)

支出の部		収入の部	
印刷費	1.811.006	購読料	1.859.500
編集取材費	320.220	広告料	450.000
人件費	331.020		
通信費	145.374		
消耗品費	13.099		
印刷費	51.700		
旅費交通費	13.280		
予備費	3.050		
小計	2.688.749	計	2.309.500
		収支差額	379.249
合計	2.688.749	合計	2.688.749

(一般会計) 収支計算書

昭和42年度 (自昭和42. 4. 1 至昭和43. 3. 31)

支出の部		収入の部	
1 (会議費) 総務193.240 財務6.770		オリンピック基金	125.000
審判81.640 技術25.341 普及16.810	323.801	加盟基金	370.000
	86.159	登録金	1.379.600
2 (渉外費)		大会参加料	319.000
3 (旅費交通費) 役員71.970 財務13.740		検定料	1.035.000
技術154.684 総務152.620	727.934	審査料	242.000
審判166.020 普及168.940	421.523	ルールブック	8.500
4 (通信費) 総務	280.642	補助金	
5 (分担金) 総務	168.800	競技力向上	1.740.000
6 (印刷費) 総務	894.464	振興金	600.000
7 (大会講費) 総務30.004 技術772.020	182.137	国体旅費	318.840
普及92.440	15.450	雑収入	2.658.840
8 (消耗品) 総務48.137 審判134.000	450.800		192.230
9 (備品費)	480.000		
10 (人件費)			
11 (賃借料)			
12 (予備費) 役員29.880 総務85.806	117.736		
技術2.050	4.149.446		
計	150.000		
(補助金) 全日本高校選手権	150.000		
" 学生 "	100.000		
" 総合 "	100.000		
" 選抜 "	300.000		
国体補助金	800.000		
計	1.229.781		
(予備費)	217.000		
(大会参加料)	6.396.227		
計	6.396.227	計	6.330.170
合計		収支差引	66.057
		合計	6.396.227



# I H F 総会に出席して

荒井清美

## 西ドイツの印象

私は8月17日から9月7日の約20日間、I H F総会に出席し、あわせて、ヨーロッパ特に西ドイツのハンドボール界の状況を視察するため、渡欧しました。

8月17日夜、J A Lに乗りこみ18日朝には、もうヨーロッパ、まづ西ドイツのケルン郊外にあるケルン体育大学に行き、ここでは、学長、生理学の教授などに会い、生理学的、体育学的な問題に関して、意見を交換し、合わせて、施設を見学させてもらいました。

このケルンに基地を置いて会議前に西ドイツの各地にいきました。中でも印象深いのはデュッセルドルフで、ドイツ協会をたずねた時のことです。このことは後に触れます。

ドイツ協会に行きますと、デュッセルドルフ近郊で、西ドイツ女子ナショナルチームが今冬のモスクワでの選手権に出場するため、合宿練習をやっているという話なので、それを見学しました。

このようにして、会議前のドイツ滞在中は、大学を訪れ、種々の施設の見学・あちらの専門家との話しあい、ドイツハンドボール協会を訪れるといったことで多いに有効に日を過しました。

中部ドイツの穏やかな晩夏の風景の中で行なわれている牧歌的な合宿、緑の多い広いキャンパスの中に点在する校舎ときれいにならされたアンツーカー、あるいは芝生のグラウンド、整った学生寮の施設、広い研究室などそれをとつて見ても非常にうらやましいものでした。

ケルンから汽車に乗り、広いドイツの平原の中を旅し、ラインの流れなどを見ながら、ヨーロッパというのは実に広いが、のつべりしたものだなあと実感として、その広大さと平らさを味いました。アムステルダムにつき、宿舎に入りました。

### 総会前の雰囲気

総会は30日にアムステルダムのホテルの中にある小会議場で行なわれました。

会議前日から、チェコ問題が

らんでしようが、慌ただしい動きが見られ、ホテルのあちこちで三々五々集り行なわれているのが見かけられました。

普通ですと、しごく和やかな雰囲気であり、旧交を暖めあう風景があちこちに見られると聞いていたのですが、今度の場合はやや異なっているようでした。

ソ連とも69年の招待の件で話しあいたいと思っていたので、29日に会いたいといったところ、大変忙しそうで、明日の会議をおわってからしてくれとのことでした。

会議の日になり、会議の始る前にも、ヒソヒソとあちこちに数ヶ国の代表が集り、密議をこらしているといった風景が見られました。

## 総会の内容

果して、会議の始め、ごく儀礼的な挨拶をすることが当り前になっている開催国オランダの会長が大変重大な会議である。今回の異常事態のため、大変重要な決定をしなければならぬので、そのつもりで会議に臨んでほしいとの挨拶があり、会場は重苦しい雰囲気につつまれました。

次にI H F会長のパウマン氏がたち、挨拶をし、その中でソ連に於ける第4回女子世界選手権を中止すると昨日の理事会で決定されている。これをまずやりたいとい

つて、論議に入った訳で、その後は御承知の通り、中止が13:12で決定され、すぐにヨーロッパ杯の中止も上呈され、可決されたのです。その後は通常の総会の通り、議事が進み、人事は現執行部の全員留任。ついで各国の提案に入り、競技場を主要国際試合では40m×20mにすること、ジュニアの年令の統一、複審制の問題、1チームの構成を12名にするなどの提案が討議、決定されました。

その後、今後の会議、選手権の議題に入りました。1969年の国際審判員講習会がスペインで行なうことがまず決定されました。ついで1970年の総会をスウェーデンで開催することが決り、1970年の男子世界選手権がフランスで行なわれ、細部にわたる再確認がありました。

女子の世界選手権は次回は70年になるのですが、これに関してはオリンピック問題がはつきりする1970年の総会まで保留することになりました。ミュンヘンオリンピックにつ

ては、一応男子16チームとして、1970年の世界選手権で8チームをあの8チームはアジア、アメリカ、アメリカから1チームずつ、あとはI H Fで決定するとい線が出されました。

1974年の男子世界選手権はドイツが立候補しているが、70年の総会で決定することにして、保留となりました。

会議は30日だけおわり、31日はアムステルダムの市内の観光を行ない、解散しました。

その後、ミュンヘン・オリンピックの施設を見学するためミュンヘンに行き、そこから帰国の途についた訳です。

以上が会議の内容を主とした私の今回の旅行のあらましですが、次に今度感じた種々のことについて触れておきたいと思えます。

## 総会の印象

I H F総会では、初めに、すでに皆さんも御承知のとおり「チェコ問題」から起された世界選手権中止議案」が提案された訳ですが、これが御承知のとおり事情になったことは選手諸君をはじめとする関係者諸氏には誠に気の毒なことではあります。やむを得ないとき考える次第です。

この時にも感じたのですが、よく最近云われている国際連盟の執行部と新興国間のミゾといったよ

うなものをチョットではあります  
が感じたような気がします。

秘密投票でしたので、よくは判  
りませんが、なんとなしのふんい  
きからいいますと、西欧諸国は執  
行部案に賛意を表し、ソ連をはじめ  
とするアフリカ新興国は執行部  
案に反対、すなわち開催しようと  
いう意向のように見受けられまし  
た。

### 執行部の指導性

この時にも感じたのですが、こ  
の後の議案の処理の際に特に強く  
感じたのは、執行部の指導性の強  
さとそれからくる会議の運び方の  
速さということでした。

執行部―特に会長―の発言権の  
強さには眼を見張るものがあり、  
たとえば、英国の加盟の可否が問  
われた時、プチ・モンゴベール副  
会長が英国をかばう演説をながな  
がしようとしているのを、パウマ  
ン会長がとどめ、裁可してしま  
い次回延しにするといった場面で特  
に強く感じました。

11人制の存続といったような重  
要案件に関しても、技術委員長よ  
りも、会長がはるかに指導力を発  
揮し、決定するというように。

人事の面でも、会長の留任が決  
定すると、会長が他の役員をミュ  
ンヘンオリンピックまでこの組織  
でという一括提案でそのまま認め  
させるといふように、執行部のイ

ニシアタイプは非常に大きなもの  
があり、会議の進行はすこぶるス  
ピーディーなものでした。

こういったことは一つには、常  
務理事会、理事会ですでに検討し  
つくされているので、自信をもつ  
て、会議に臨む態度もしつかりし  
ており、理事全員、そして理事を  
選出している国々がこぞってこれ  
を支持するという事が強力な指導  
力をもつ背景になっていいることも  
見逃せないことだと思えます。

このような会議に入る前にす  
でに大体の話は型がついているため  
日本のようにごくときおりしか、  
これらの人々と話る機会のない  
国が新しい提案をしたり、役員  
になつたりしようとすることは至  
難のワザということができましょ  
う。

今回も理事国立候補の意志表示  
はしたのですが、ヨーロッパにそ  
れこそ真の意味での知己がいな  
い現状では、全く話にならないとい  
うのが、今回の総会に出て痛感し  
たところだ。

### オリンピック問題

オリンピック問題にしても、男  
女開催が可能かどうかは現在行な  
われているメキシコ・オリンピック  
の際に行なわれるIOC総会で  
メドがつくことになりましよう。

これも、やはりIHFと開催国  
である西ドイツがどの程度政治力

を發揮することができるとは、一  
つのカギになりましよう。

ドイツ協会が中心になって、ド  
イツ体育協会がバックアップし  
メキシコのIOC総会には、ドイ  
ツ体育協会を先頭にして、ドイ  
ツハンドボール協会、IHFの  
ドイツ出身の技術委員であるジ  
グフリード・ペライ氏が出かけて  
いくという話でしたので、かなり  
の成果があることが期待でき  
ましよう。

オリンピックに対する各国の関  
心に非常に高いものがあり、これ  
は役員留任をミュンヘンに理由  
づけて行なつたIHF執行部と同  
様に大変なものがあることが、ひ  
しひしと感じられました。

総会でも、男女開催の音が非常  
に高く、各国ともただならぬ関心  
をよせていることは、オリンピッ  
クが議題になった時会場にみなが  
つた、熱っぽい雰囲気からも察つ  
することができましたし、各国の  
代表と意見を交換していてもオリ  
ンピックと云う言葉はしばしば聞  
かれました。

### ドイツ協会の印象

オリンピックと関連して、ドイ  
ツ協会ですが、ここは一つの立派  
な事務機構がそなわっています。  
会長、副会長が絶対の権力をも  
っていることはすこいものですが

理事長が協会専属であること、役

員は事務所の近くに居を構えて  
いてすぐにもかけつけられると  
いったうらやましい条件にありま  
す。

西ドイツの大手帯をひきいてい  
るのでから無理ないと思えます

が、試に立派なものです。まさに  
組織があるという感を受けまし  
た。種々の面で学ぶことは多々あ  
ります。日本でも一つ一つ解決し、  
あらゆる面でトップレベルになり  
たいものです。(談文責・編集部)

### 従来行なわれたIHF総会

開催年	開催地
第1回 1946年	コペンハーゲン (デンマーク) 8ヶ国参加
第2回 1948年	パリ (フランス) 11ヶ国参加
第3回 1950年	ウイン (オーストリー) 13ヶ国参加
第4回 1952年	ザールブリョッケン (西ドイツ) 16ヶ国参加
第5回 1954年	ヤパチーヤ (ユーゴ) 15ヶ国参加
第6回 1956年	ストックホルム (スウェーデン) 18ヶ国参加
第7回 1958年	ガルミツシュ・パルテンキルヘン (西ドイツ) 17ヶ国参加
第8回 1960年	リュージュ (ベルギー) 21ヶ国参加
第9回 1962年	マドリード (スペイン) 24ヶ国参加
第10回 1964年	ブダペスト (ハンガリー) 25ヶ国参加
第11回 1966年	コペンハーゲン (デンマーク) 26ヶ国参加
第12回 1968年	アムステルダム (オランダ) 28ヶ国参加
臨時総会 1948年	パリ (フランス) 14ヶ国参加

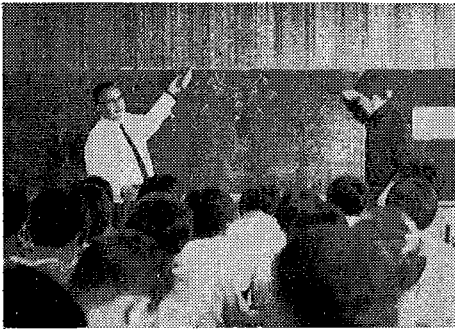
# ネデフ氏から学んだもの

大崎電気女子監督 宮原俊隆

私達は嘗てルーミア男女が世界制覇をし、世界の最上位のナショナルチームのコーチであるネデフ氏から指導を受け学びました。基本技術、基礎体力の重要性を改めて身を持って教わりました。選手達がネデフ氏から直接指導を受けた体験は誠に意義深いものがあります。

基本技術は始めてハンドボールをやる人も全日本選手でも同じ様にいつも反復練習をしなくてはならない。一流選手になると思ったから見よう見まねではなく正しいコーチを受けて正確な基本技術、基礎体力を順序よく反復練習をしなければならぬということです。

ネデフ氏の指導を受けた印象。練習は厳しいが楽しさがある。プレーヤーは基本技術、基礎体力に忠実であれ、練習は常に「正しく、速く、強く」、練習、内容、目的を分かりやすく理解させる。選手はいつも頭を使ってプレーし努力することだ、コーチがやって見せる(言葉は通じないが、見てわかる)練習に変化があると同じに能率的な練習である。練習には目新しい練習法や理論はありません。



んが、練習方法や気付いた点を書いて見ます。

1、練習に補助運動、補強運動を多く取り入れる。

体力作りとして特に、足の力、腕の力、腹筋を補強する

④瞬発力をつける運動  
例、イ、一人がしゃがみ他のひ

とりは両足でジャンプして飛びこしすぐ腹の下をはい出す。

ロ、シャドウボクシング2人向い合い動きながら手や足を動かす。

ハ、フアイティングブック  
2人向い合ってジャンプ。  
ジャンプの頂点で胸と胸を合せる。

⑤筋力を強くする運動  
例、イ、うさぎとび、2人で向

い合ってうさぎとびをしなが  
ら手と手を合せて相手を倒す。

ロ、腹筋、2人一組で向い合  
って坐る相手の手首を持つて寝る。

ハ、すもう、2人で押し合  
う。

ニ、逆立ちの腕立けんすい  
2人1組で一人が逆立ちを  
して他のひとは逆立ちし  
た人の足を肩にかけすぐこ  
の姿勢から腕を曲げ伸ばし  
する。

2、出来るだけ多くボールを使  
う練習

練習時間は限られているから、  
ひとりが出るだけ多くボールに  
さわられるにしなければいけない。  
又出来るだけボールになれる事ひ  
とり1個少なくとも2人に1個  
の割合でボールを用意する。練習  
の始めに決りきったように整列、  
円になって徒手体操をしなくても  
ボールを使って手や足を動かし、  
2人一組でボールを使って体操を  
するとか(例)背と背を合せて立  
ちボールを両手で頭上で渡し次に  
両足の間から渡す。前後運動、ボ

ールを片手で握りまわす。整理運  
動としてスローインこの練習をす  
る事も出来る。ドリブルで1対1  
の奪い合い、ボールをコロガン走  
るパスでも二人でボールを2個3  
人で2〜3個使ってパス、キャッ  
チの練習をする事によって視野が  
広がる。

## 3、インテーパー練習

常に激しい練習と軽い練習を組  
合せなければならぬ。試合でも  
激しく動くとき、軽く動くときが  
インテーパーになっているから1  
日の練習中で激しくやる時、軽  
くやるとき又1週間の練習でも同  
じ様な考えてやる必要がある。

練習でもランニングだけではな  
く、パス、フットワーク、コンビ  
ネーション等にもインテーパー練  
習をする。(例)パスの場合、1分  
間早いパス30秒休み3回とか、フ  
ットワーク30秒休み30秒2回

## 4、パスとキャッチの重要性

ネデフ氏に一番うるさく言われ  
たのがパスとキャッチである。い  
つもグラウンドで大声で「正しく、  
速く、強く」特に正確なパスキャ  
ッチを要求された。パスキャッチ  
に毎日かなり時間をかけて練習し  
た。

## 練習も3段階に分けて

a 基礎練習―静止した状態で  
の練習、力を入れず正確なフォ

ムを身につける。

b 応用練習―動きながらラン  
ニングを加えて早く強く。

c 実戦的練習―相手をつけて  
の練習試合と同じ様に、練習は3  
段階に順序を追って教えてもらい  
完全に出来なければ次に移る事が  
出来ないのではなく、実戦的練習  
をしてどうもうまく出来ない場合  
には応用、基礎練習にもどって練  
習をする。

## 5、ディフェンスの強化

ディフェンスの基本的な原則を  
プレーヤーは忠実に守ってディフ  
ェンスの練習を積むことである。  
フットワークに重点を置き毎日の  
練習で必ずやった。特に注意され  
た事は両手を有効に使い両手を広  
げ上下に振るフットワークは常に  
前後左右に動く。指導者の指示を  
見て動く(常に相手の動作を見て  
動く事)ディフェンスは決してリ  
ラックスしてはいけない。オフエ  
ンスから切りかえ出来るだけ早  
くすることが常に大切である。デ  
ィフェンスのつめを早くする。

## 6、メジシンボールを使用

(ハンドボールの大きさ重さ1kg)  
既製品でなければいけない事は  
ない、破れて使えなくなったボー  
ルの中にぼろきれをつめこめば、  
かなり重いものが出来る。日本人  
は特に腕力が弱いのでメジシンボ  
ールを使って練習する必要がある

る。練習したのはパス、キャッチ  
2〜3 m位で正確に早く行う。す  
ぐ軽いボールでパスキャッチをく  
りかえずとか、重いボールと軽い  
ボール一諸に使ってパスする。重  
いボールで片手キャッチ、チェン  
ジンパス、重いボールを使う前  
に必ず補助運動で手首や肩などを  
良く動かしてから使うこと。重い  
ボールでシュートを打たない様に  
肩をこわすから。

### 7、グループ形式、ゲーム形式 の練習

3人、4人とグループを作つて  
パス、ボールカット・ディフェン  
ス練習、サッカー、バスケット、  
ホッケー、ラクビ等をやり体をな  
らしながら基本技術や基本戦術の  
練習を兼ねる事が出来る。ウオーミ  
ングアップの一環として特にやる  
事が多い。

### 8、特に男女の練習方法は同じ である。

強いて言えば女子の場合には足  
の力、腕の力、腹筋瞬発力にかけ  
ているのでこの点を主眼に置いて  
練習して行くべきだ。ランニング  
の時に出来るだけスタンスを広く  
して走る様に注意を受けた。

最後に練習と試合は出来るだけ  
並行して行う様に試合の中から何  
を練習しなければならないかを見  
つけまた練習での技術がどれだけ  
試合に出来るか、又試合そのもの

がさらに高い段階に進むための一  
種の練習でもある。どんな実戦的  
な練習でも身につけることの出来  
ないものが試合の経験で得られる  
練習は試合の代わりにはならな  
い、出来るだけ多くの試合をやる  
様に強い相手との試合経験をたく  
さん積まなければいけない。

皆様方に連絡の不幸際で大変御  
迷惑をお掛け致しました事を誌面  
を借りて深くお詫び致します。

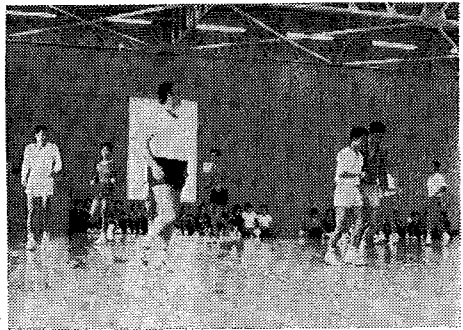
練習を一緒にする  
ネデフ氏

(中央やや左より)

大崎電気男子監督

一口に言つてハンドボールの初  
歩の初歩であり、私達が日頃先  
生、諸先輩方に口が酸っぱくなる  
ほど言われた、パス、キャッチと  
合理的な練習の流れであると思  
う。

一ヶ月の間に多くのことを指導  
して戴く為ネデフ氏には大変なこ  
とであるが、一日三時間を御願  
いした。二時間は基礎体力、基本技  
術の反復練習、残り一時間はオフ  
エンス、ディフェンスの練習であ  
った。そして私達の旧式の練習に  
こだわらず、ネデフ氏のスケジ  
ュールに一任した事が良かったと思  
う。



## 竹野奉昭

歩行練習に始まり春先を思い出  
させる柔軟体操、腹筋運動、腕立  
伏せ、兎跳等の基礎体力を選手を  
楽しませながら鍛えて行きボール  
を使つては面白いゲームをさせ、

息を抜く場を作つたりし、又やる  
時は徹底的にしぼられた感がある  
。又ボールテクニクの養成のが  
為、片手キャッチ、バックパス  
(上・下)等、私達日本選手が考  
えもつけないような難しい、いろ  
いろテクニクを実際に指導を  
受け、頭の中では「こんなこと」  
と思ひながらやっているうちに、  
思うところボールを投げられる様  
になった事は喜ばしいことであ

る。

「サーカスの綱渡りでも毎日の  
練習で高等技術を身につける。ハ  
ンドボールも同じ事である。ハ  
ンドボールも同じ事である。」と  
はネデフ氏の言葉である。この様  
な難しいテクニクを教えなが  
ら、パス、キャッチは正しい姿勢  
で正確なスローを強調された。何  
か矛盾を感じるがよく考えると味  
のあることである。ボールを自由  
自在に扱つてこそ、正しい正確な  
パス、キャッチが出来る様にな  
ると思う。

ルーミアニアのナショナルチーム  
の合宿の仕上げでは三日間パス、  
キャッチの練習で終る事もあるそ  
うである。

選手一人一人が基礎体力、基本  
技術を身につけてディフェンス・オ  
フェンスにおいて二人、三人……  
のコンビが完成されてこそ、始  
めて七人のコンビが組めるのでは  
ないだろうか。

「何を学んだか」と言つても同  
じハンドボールをやっているのも  
目新しい技術、練習方法はあまり  
なかったが、世界制覇を何度も  
しとげたルーミアニアのコーチの言  
葉だけに真実性があり、前述べ  
たとおり基礎体力、基本技術の重  
要性を痛感するのである。これは余  
談ではあるが、日本では攻撃は最  
大の防禦であると古い諺がある  
が、ネデフ氏は「防禦が一番緊張

する時であり攻撃は休憩である。」  
の言葉を私達は今一度考える必要  
がある。

何かまとまりのないことを書い  
てしまったが、ネデフ氏の来日に  
あたり多くの人達に直接参加して  
指導を受けて戴くことを希望して  
いましたが、はじめての外国人コ  
ーチの招聘で私自身何も手がつか  
ないまま終つてしまい、多くの方  
々に御迷惑をかけたことを紙面を  
かり御詫致します。

### 「ハンドボール」講読のおすすめ

ぜひ本誌を個人でおとり下さい。

申しこみは東京都渋谷区神南町25日本ハンドボール協会

(振替東京 58348) に年額¥1,200をそえてどうぞ。

☆ス ☆ク ☆ツ ☆ピ ☆ト ☆外 ☆海

藤 本 強

ダイナモ・ブカレスト  
ダイナモ・ベルリン  
を敗る！

東ベルリン

過日、東ベルリンで行なわれた7人制ハンドボールの試合で、ルーマニアの強チーム、ダイナモ・ブカレストと東ドイツのトップチーム、ダイナモ・ベルリンが対した。両チームとも世界的に名の知られた強豪チームである。

試合は親善試合として行なわれた。

ルーマニアのブカレストが快調に最初からとばして、リードを奪い前半は10-7とリードしたが、東ドイツのダイナモは後半良く追いこんだが、ゴールキーパー、ペスの活躍があり、ついに及ばなかつた。

東ドイツの反撃をよく押さえたダイナモ・ブカレストのキーパーベヌと一人良く7点をあげ、ダイナモ・ブカレストに勝利をもたらす原動力となったリスがこの試合の立役者であった。

同じ力を示したが、わずかにハンガリーがルーマニアを押え優勝した。

親善杯男子は

ハンガリー

女子は

ルーマニア

これは16才から18才の選手によって争われるもので、ハンガリールーマニア、ユーゴスラビア、ブルガリアの東欧四ヶ国が参加して、本年は男子は西ハンガリーのモゾンマジャールロバルトで、女子は東ハンガリーのベケクサバで試合が行なわれた。どちらもリーグ戦で行なわれた。

結果は次の通り

ルーマニア	20	16	ユーゴスラビア
ハンガリー	32	12	ブルガリア
ユーゴスラビア	25	18	ブルガリア
ハンガリー	16	15	ルーマニア
ルーマニア	27	18	ブルガリア
ハンガリー	20	18	ユーゴスラビア
ハンガリー	20	18	ラビア

ユーゴスラビアもハンガリールーマニアに勝るとも劣らない力をもっていたが、今一つの力不足で三位におわった。

ブルガリアはちょっと力がおちるようであった。

数年後にはナショナルチームの一員になるであろうこれら若い力の対戦にはすこぶる興味があると同時に、我が国の高校生諸君にもこうした檜舞台が作られることが一日も早いことを望みたい。

これをとても男女両チームとも国内リーグ入りしている一流クラブが多いことが眼につく。

女子の結果は次の通り、

ブルガリア	9	8	ハンガリー
ユーゴスラビア	6	6	ルーマニア
ユーゴスラビア	16	2	ブルガリア
ルーマニア	11	10	ハンガリー
ルーマニア	21	6	ブルガリア
ハンガリー	7	7	ユーゴスラビア

ハンガリー球界

一九六八年

ここは男子14チーム、女子14チームによって、春から秋にかけての二回戦制の国内リーグを行なっている。各チーム26試合を行い、優勝を争うという形をとっている。

折り返し点では、常勝、ホンブット・ブタベストが11勝1分1敗の好成績で男子のトップにたっている。二位のベレー・メテオール・ブタベストが8勝1分4敗、三位のバニヤズ・ベスシがやはり8勝1分4敗と差が大きく開いて

いるので、今シーズンも男子は名門、ホンブット・ブタベストが栄冠を掌中にする可能性がきわめて強い。男子14チームの内容は現在

女子は現在のところヘレンスバロース・ブタベストが12勝1敗、バザス・ベスツプレミが11勝1分1敗で激しく首位を争っている。女子のチームは前記2チームのほかにはコハス・オジー、ベスシ・バニヤズ、テクスタイレス・ギョエリ、バザス・ブタベスト、バルタクス・ブタベスト、スセバ・ブタベスト、TFSE・ブタベスト、ケテート・ベケスクサバイ、BGSC・ブタベスト、ボスタス・ブタベスト、ETO・ギョエリ、ベレー・メテオール・ブタベストしある。

# ユーゴスラビアで 第10回国際 シンポジウム

アドリア海に臨むトロジールで I H F の後援によるハンドボール コーチのための第10回国際シンポ ジウムが7月14日から23日まで の10日間行なわれた。

16ヶ国から、176人の多数の 参加者を迎えた。

参加者の内訳はオーストリアか ら4人、ベルギーから8人、ソ連か ら5人、オランダから9人、クワ エイトから4人、レバノンから2 人、西ドイツから5人、ポーラン ドから3人、ポルトガルから6人、 ルーマニアから2人、シリアから 1人、チェコスロバキアから4人、 スイスから34人、エジプトから4 人、チェンジアから3人、ユーゴ ー スラビアから82人であった。

内容は7人制ハンドボールにつ いてであり、発表と討論が行なわれ た。主な発表者はベードリツヒ・ ケーニツヒ(チェコ)、クドリマ イ・イオンフ教授、シルブ・ディ ミトール教授(どちらもルーマニ ア)、ジェルジイ・ティル(ポー ランド)、ピリム・テイシク、プ ラド・ステンツェル(どちらもユ ーゴスラビア)であった。 これによって、10回の回を過ぎ て、27ヶ国、1452人のコーチ

が受講し、討論をしたことになっ た。

これを記念して、トロジール杯 とトロジール選手権が行なわれ、 前者はO・B・ユーゴスラビア がアミシティア・スイスを6―3 で敗り、後者では、RK・スプリ ットがRS・ユーゴスラビアを 6―5で破り、それぞれ優勝を飾 った。

このシンポジウムの参加者は 船で楽しい日を送った。 別れる時に参加者は口々に「ま た来年あおう」と云って、別れて いった。

## ソ連が優勝

### ―タスマジヤン杯―

伝統もできあがったタスマジヤ ン杯は第4回世界女子選手権の前 哨戦をかねていたので、従来にな く多くの国々からの参加が見られ た。7月に行なわれているので、 世界選手権は挙行の予定であつた ので、ソ連、ユーゴスラビアA ・B2チーム、東ドイツ、ルーマ ニア、ハンガリー、チェコスロバ キア、デンマークの七ヶ国八チー ムが参加した。

大会は4つづつ二グループにお けての準決勝リーグ、そのあと5 対8位リーグと決勝リーグといふ 形で行なわれた。

ルーマニア	9―7	ユーゴーB
ハンガリー	13―11	ユーゴーB
ルーマニア	12―8	ハンガリー
ソ連	9(5―4)	ルーマニ
	ア	7
(決勝リーグに適用)		
ソ連	12―7	ユーゴーB
①ソ連3勝、②ルーマニア2勝1敗(以上決勝リーグへ)、③ハンガリー1勝2敗、④ユーゴースラビアB3敗		

このリーグはソ連が圧倒的な力でこのリーグを全勝した。ルーマニアはソ連の試合に敗れ、やや力が落ちてい ることを感じさせた。ハンガリーは チャンピオンチームの面目を保て なかった。

### Bグループ

チェコ	7―7	東ドイツ
ユーゴーA	10―7	デンマーク
東ドイツ	12―9	デンマーク
ユーゴーA	15―8	チェコ
チェコ	11―5	デンマーク
ユーゴー	11(6―5)	11東ドイツ
	(5―6)	
(分、決勝リーグに適用)		
①ユーゴースラビアA2勝1分		
②東ドイツ1勝2分(以上決勝リ		
グへ)、③チェコ1勝1敗1分、		
④デンマーク3敗		

チェコと引き分けた東ドイツがこ れに続いた。 5―8位リーグ

ハンガリー	7―6	チェコ
デンマーク	13―10	ユーゴーB
ハンガリー	13―9	デンマーク
チェコ	10―7	ユーゴーB
ハンガリー	10―7	ユーゴーB
ユーゴー	10―7	ユーゴーB
ユーゴー	10―7	ユーゴーB

ハンガリー―ユーゴーB、チ エコ―デンマークの2試合は準 決勝リーグの成績を適用

五位、ハンガリー、六位チェコ スロバキア、七位デンマーク、八 位ユーゴースラビアB

ユーゴースラビアBが八位にな ったとは云え、大健闘をした。こ のチームは平均年齢十七・五才と いうのだから将来恐るべき存在と 云えよう。

力がおちるのが実情である。 ユーゴー強し

A・Bで一、二位

―ザケレフ杯―

男子ザケレフ杯も5ヶ国から6 チームが集り、ユーゴーがAB両 チームとも4勝1敗となり、得失 点差で7点勝るAチームが優勝し た。

ユーゴーA	26―13	ハンガリー
ルーマニア	19―13	ソ連
ルーマニア	24―20	ポーランド
ユーゴーB	23―10	ポーランド
ユーゴーA	21―14	ソ連
ユーゴーB	22―19	ハンガリー
ポーランド	22―17	ソ連
ハンガリー	19―17	ルーマニア
ユーゴーB	16―14	ユーゴーA
ユーゴーB	16―14	ソ連
ハンガリー	13(13)	ポーランド
ハンガリー	13―13	ポーランド
ユーゴーA	28―24	ポーランド
ソ連	18―14	ハンガリー
ルーマニア	15―14	ユーゴーB
ユーゴーA	19―15	ルーマニア
①ユーゴーA、②ユーゴーB(と		
もに4勝1敗、③ルーマニア3勝		
2敗、④ポーランド1勝3敗1分		
④ハンガリー1勝3敗1分(得失		
点差、⑥ソ連1勝4敗		
ユーゴーA・B両チームが強さ		
を發揮して優勝した。		

# 相手の出方に対応する変化を

強 本 藤 訳

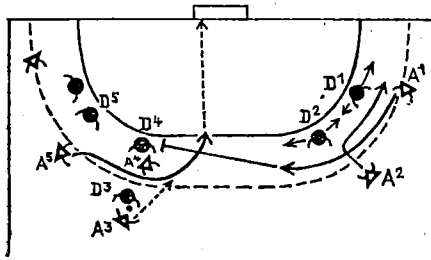
(日本協会常務理事)

前回に引きつづき、今回も攻撃フォーメーションの実際例をいくつか図示しながら紹介していく。再三、強調しているように、これらはあくまでも例であって、これをそのまま使用できるチームはほとんどないといっているほどである。

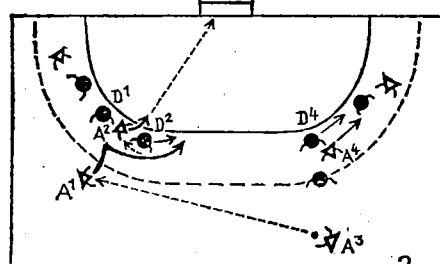
各チームの特色にあわせて、それぞれ変化させることがハンドボールにおいては肝心である。先日、来日したルーマニアのコーチ、ネデフ氏も強調していたように、ハンドボールにおいては、そのチーム、その個人個人にあったフォーメーションを作り出すのが一番である。ここで示すのは、オールドックスにどのような方法が考えられるかということであり、各チームのフォーメーションのヒントといった性格のもものと理解してもらえば良い。

例1 (1図参照)  
左サイドに4人を置く準備段階からの攻撃  
右サイドのA1は左に向って、スタートをきる。これと同時にA2は左にスタートをきって、右サイドのディフェンスD1とD2をひきつけておく。それぞれにフェイントをかけてからスタートするのは云うまでもない。A4はD4をひきつけておく。A1のスタートを見て、A5は一度フェイントをかけてから右に動く。A1がD

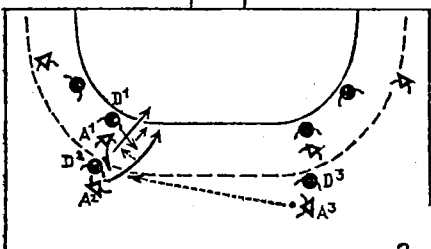
4をブロックした瞬間にA5はノーマークになり、A3からのボールで得点する。A3、A4はカバーに入れるように次のスタートを考える。



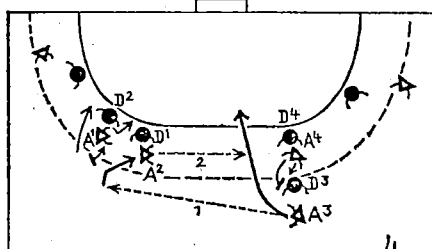
1



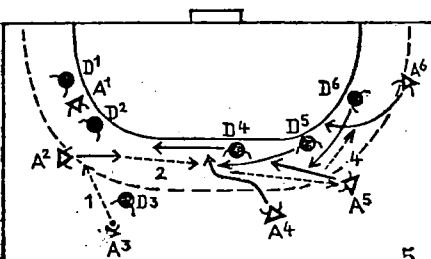
2



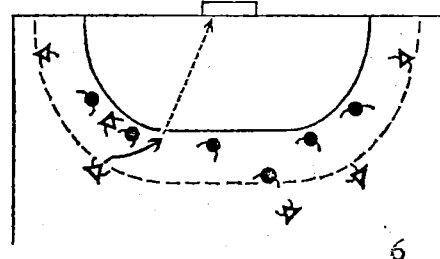
3



4



5



6

例2 (2図参照)  
4人の選手をエリアラインに入れた準備段階の場合  
A3がボールを持ち、A2がD1とD2の間に入り、準備はとと

う。この時、A3とA1は逆サイドにあることが条件である。A1はA3からボールを受けるとすぐにD1をめがけて走り、すぐに斜に中央に向かって走る。D

2はA1のこの動きによって、動かざるを得ない。結果的にA2はフリーとなる。

A2は向きをかえ、A3からのバックパスを受け、倒れこみシュートを打つ。この時右サイドと左サイドの選手はそれぞれのマークを自分にひきつけておく。またA4は必ず右サイドに向って走りA1、A2へマークが向かわないようにする。もし、A2があかないならば、必ずどこかの位置がフリーマークになっている筈である。

例3 (第3図、第4図参照)

2・4ディフェンスに対するフォーメーション

3図、4図は一つのフォーメーションのバリエーションとしてとらえることが必要である。ハンドボールのフォーメーションはこのようにバリエーションのあることが、またバリエーションを時に応じて使いわけることがもつとも大切なことである。一つの攻撃がマールされたならば次の手がうてることこれが大きな特長である。そのようにフォーメーションを理解しなければならぬ、そのように組まなければならない。

A1はD2をブロックに入り、A2は左にフェイントをかけ、ついで右に進み、A3からパスをもらう。これが基本になる。これが失敗した場合には、次のような変化をすることができぬ。

第1の場合

A1をマークしていたD1がA2に向って、マークにいった場合には、D2はA2をマークするのが役目であるのだから、D2はA2についている。ブロックに入つたA1はすぐにそれをはずして、エリアラインに向って進み、A2からボールを受け、シュートする。

第2の場合

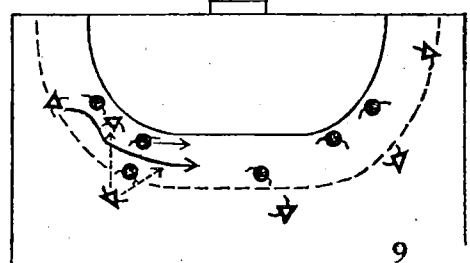
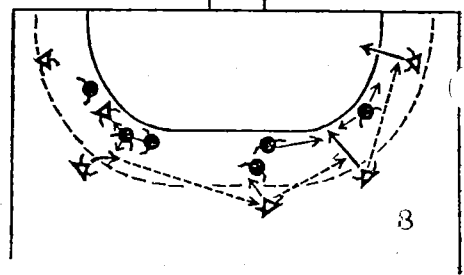
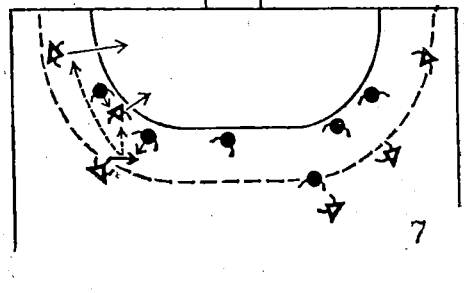
もし、A1がD2のブロックを左側に入れて出来なかつた場合には、D1とD2はチェンジをし、バックはくずれない。その時にはA4がD3のブロックに入り、A3に再びパスをかえし、A2がフリーマークとなる。

いずれの場合でも、準備段階に十分に左右のサイドにディフェンスを拡げておくことが必要となるのは云うまでもない。

例4 (第5図参照)

多くのバックを動かす、得点に結びつけるフォーメーション  
基本的にはA1がD1とD2の間に入り、どちらにもマークさせ、バックを引きつけることからこれは始まる。

A3がボールをもち、A2にパスをする。A2はあいている中央に向い動く。D4はつかざるを得ない。A4は左に進路をかえながら走る。これはバックから少しでも遠くということ、最終的なシ



第4 (第9図)

ディフェンス中央が左サイドにより、ボール所有者に対して完全にアタックに出てくる場合には、右サイドのディフェンスが浮き気味の時には、左サイドは中央に向って、ダッシュをする。これにパスを入れるか、ディフェンスの動きしだいでは、ポストにパスを入れる。どちらかがフリーマークになる。

第3 (第8図)

ディフェンス中央が左により、ボール保持者に対して、ディフェンスがややアタックに出てくる場合に、すばやいパスを左から右にふり、陣形がととのわないうちに、右サイドで勝負する。このパスがおそいと、ディフェンスは新たな攻撃に対して、陣形をととのえてしまうので、すばやいパスを送らないと攻撃の糸口はなくなってしまう。

第1 (第6図)

ディフェンスの中央後部のものが位置をほとんどかえていないなら、またボールをアタックにこないならば、ロングなし、ミドルシュートが一発で決る。

第2 (第7図)

ディフェンス後部中央の位置が変化なく、ボールアタックに出てくる場合には、パスをポストもしくはサイドに通し、シュートさせる。

第3 (第8図)

ディフェンス中央が左により、ボール保持者に対して、ディフェンスがややアタックに出てくる場合に、すばやいパスを左から右にふり、陣形がととのわないうちに、右サイドで勝負する。このパスがおそいと、ディフェンスは新たな攻撃に対して、陣形をととのえてしまうので、すばやいパスを送らないと攻撃の糸口はなくなってしまう。

第1 (第6図)

ディフェンスの中央後部のものが位置をほとんどかえていないなら、またボールをアタックにこないならば、ロングなし、ミドルシュートが一発で決る。



# ルーマニア連覇

—世界選手権編 ⑦—

## 日本初の一勝

第5回世界男子7人制ハンドボール選手権大会の本大会は1964年3月6日から15日までチェコで開かれた。

この大会の申し込みは26ヶ国あり、うち8ヶ国が予選なしで本大会に出場できることになった。幸い我が国もこの8ヶ国の中に入ることができた。予選なしの出場国は、前回の一、二、三位のルーマニア、チェコ、スウェーデン、四位のドイツが東西に別れて本大会から出場するので、東西ドイツ、五位のデンマーク、六位のアイスランドということになり、他の18ヶ国は予選を行なうことになった。予選は二回戦方式で行なわれた。ソ連—フィンランド、スイス—ルクセンブルグ、ハンガリー—ポーランド、ユーゴ—オーストリア、ノルウェー—オランダ、フランス—スペイン、米国—カナダ(上に書いたチームが本大会に出場)アラブ連合—シリアの勝者(アセネガール—象牙海岸の勝者)(アラブ連合が会場)

本大会は16チーム参加でまず4グループの予選リーグ、このうち上位2チームをとって、2グループ4チームずつによる準決勝リーグ、この1、2、3、4位同士による1、3、5、7位決定戦という形がとられた。

予選リーグA組(ゴットワルドフもしくはウエルスケ—フライド

ステ)  
西ドイツ 14 (8 | 8) 14 ユーゴ

(決勝リーグに適用)

東ドイツ 20 | 9 アメリカ  
ユーゴ 22 | 3 アメリカ  
西ドイツ 12 | 10 東ドイツ  
東ドイツ 14 | 14 ユーゴ  
西ドイツ 24 | 13 アメリカ  
一位 西ドイツ 2勝1分 二位 ユーゴ 1勝2分 三位 東ドイツ 1勝1分1敗、四位 アメリカ 3敗

西ドイツ、東ドイツ、ユーゴの差は全く紙一重、西ドイツ戦でわずかに劣った東ドイツが非運にも、決勝リーグに進出できなかった。東ドイツは第6回大会でも同様についていないことがあった。

予選リーグB組(ブラティスラバ)  
スウェー 15 (8 | 4) 8 ハンガリー  
デン 7 | 4

(決勝リーグに適用)

アイスラン 16 | 8 アラブ連合  
ハンガリー 16 | 9 アラブ連合  
アイスラン 12 | 10 スウェーデン  
ハンガリー 21 | 12 アイスラン  
スウェーデン 26 | 11 アラブ連合  
一位 スウェーデン 2勝1敗(得51失31、+20)、二位ハンガリー 2勝1敗(得45失36、+11)、三位アイスランド 2勝1敗(得40失39

+1)、四位アラブ連合3敗

2勝1敗同士の三つ巴、アイスランドがスウェーデンを破ったというのは大ニュースである。しかし、得点差でスウェーデン、ハンガリーが準決勝リーグに進出することになった。

予選リーグC組(ブラグ)  
チェコ 23 | 14 フランス  
デンマーク 16 | 13 スイス  
スイス 15 | 14 フランス  
チェコ 14 (7 | 7) 11 デンマーク 7 | 4

(準決勝リーグへ適用)


デンマーク 26 | 13 フランス  
チェコ 26 | 10 スイス  
一位 チェコ 3勝、二位デンマーク 2勝1敗、三位スイス 1勝2敗、四位フランス 3敗

チェコが強みを発揮し、この組のトップ、デンマークがこれに続いた。スイス・フランスはこれら両チームに比べるとかなり差が見られる。

予選リーグD組(バルドビス)


ルーマニア 16 (7 | 8) 14 ソ連  
ルーマニア 18 (9 | 6) 14  
日 本 18 (9 | 10) 14 ノルウェー  
ルーマニア 18 | 10 ノルウェー  
ソ連 40 (17 | 3) 10 日 本  
ノルウェー 13 | 11 ソ連  
ルーマニア 36 (20 | 6) 12 日 本  
一位 ルーマニア 3勝、二位

日本ハンドボール協会検定球



新製品 /

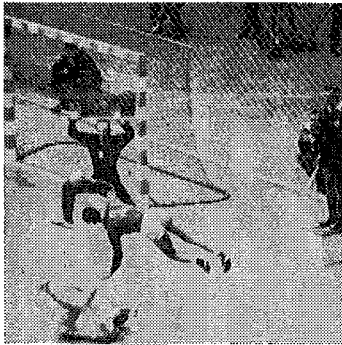
**チェコ型**



東京

**タチカラ株式会社**

大阪



ソ連1勝2敗(得65、失39、+26)、三位 ノルウェー1勝2敗(得37、失47、-10)、四位 日本1勝2敗(得40、失90-50)  
 日本は1勝を挙げたものの、ソ連、ルーマニアに大差で負けたため、四位におわった。  
 ルーマニアは前回のチャンピオンチームらしい堂々たる勝ちぶりであった。ソ連との一戦、前半リードされて、ハツとしたが後半もり返して、事なきを得た。  
 準決勝リーグI組(ブラハ)  
 ハンガリ 19(7-7) 15 西ドイツ  
 スウェー 23(13-11) 18 ユーゴ  
 デン 12(7-8) 15  
 ユーゴ 16(9-7) 15 ハンガリ  
 西ドイツ 16(8-5) 8 スウェー  
 一位 スウェーデン2勝1敗、二位 西ドイツ1勝1敗(得45失21、+4)、三位 ユーゴ1勝

ソ連—チェコ  
 1敗1分(得48、失52、-4)、四位ハンガリー1勝2敗  
 実に複雑な星争いとなった。一つにはこのグループには、絶対の力をもつチームがないことも原因である。どっちかといえば、II組に比べると力の劣るチームが集まっている感のあるI組である。  
 準決勝リーグII組(ブラハ)  
 チェコ 18(9-7) 15 ソ連  
 ルーマニ 25(15-10) 15 デンマー  
 ア 17(10-10) 14 デンマー  
 ソ連 16(9-7) 15 チェコ  
 ルーマニ 7(7-8) 15  
 一位 ルーマニア3勝、二位 チェコ2勝1敗、三位 ソ連1勝2敗、四位デンマーク3敗  
 ルーマニア、チェコの両優勝候補の激突がこの組の見物、これは事実上の決勝戦以外の何物でもない。前回の優勝はややフロック的に見られていたルーマニアであったが、今回は堂々とチェコとガツプリ四つに組んで、主砲モーゼルを押したて、チェコを圧倒したもつとも、ルーマニアの勝ち危い綱渡りのタイムアップを狙ったフシはあったにしても、堂々たる勝ちで、今回優勝を決めたといっても過言ではあるまい。チェコソ連ともに力はきわめて接近していた。かつての一方の雄デンマークの凋落ぶりが眼をひいたグループ戦であった。  
 七位決定戦  
 デンマー 23(15-8) 14 ハンガリ  
 ク 15(8-7) 14  
 デンマークはやっとハンガリーをくだして、7位の座を勝ちとった。  
 五位決定戦  
 ソ連 27(14-13) 18 ユーゴ  
 キーパー、ジマルの活躍で、ソ連は五位の座を獲得した。この試合、ユーゴのエースザグメスターは徹底的にマークされ、十分な活躍を見せなかった。(その後、ザグメスターは西ドイツのゾーリゲン98に籍を置き、最近また帰国して、ユーゴの一員として活躍している)。  
 三位決定戦  
 チェコ 22(14-8) 15 西ドイツ  
 チェコの勝利は対戦前から、確定しているようなものであった。前半ややセッタが、後半チェコは大量得点をうばい、楽勝した。  
 一位決定戦  
 ルーマニ 25(11-13) 22 スウェーデン  
 戦前の予想では、ルーマニアの楽勝が期待されていたが、スウェーデンの喰い下りで戦はかなりもつれた。前半はルーマニアのペース、スウェーデンが追いつく、また離すといった調子で、ナト、の

活躍でスウェーデンをふりきつた。モーゼルはこの大会のリーダーイングゲッターになった。  
 一位 ルーマニア  
 二位 スウェーデン  
 三位 チェコ  
 四位 西ドイツ  
 五位 ソ連  
 六位 ユーゴ  
 七位 デンマーク  
 八位 ハンガリー

優勝  
 アルレイゼン  
 ドルレーナ  
 レタグモフ  
 ゴメフ  
 ノコ  
 オイヤ  
 ポ  
 ケア  
 スク  
 アレス  
 テネ  
 コバ  
 スク  
 II  
 GPK  
 FP  
 ルーマニアチーム

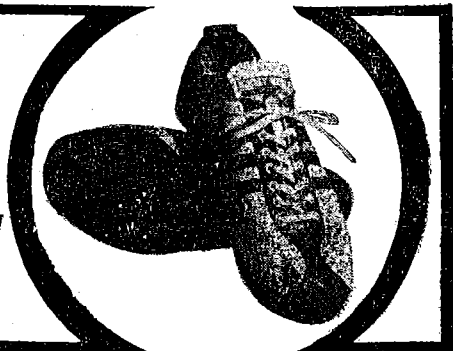


日本ハンドボール協会公認



ゴールドスター  
 ハンドボール  
 シューズ

岡山 釣鐘工業株式会社 東京



昭和43年度の各都道府県別登録チーム数が9月9日現在で日本協会から発表された。

これによると全国の登録チーム数は一四四六六になっている。かなりののび方ということが云えるであらう。

一般男子チームは三三三とかかなりの数になっている。一般女子は六八と男子に比べると淋しい。教員男子は三八チームになっている。

高校男子は六一二、同女子は三九五、両者合すると、一〇〇七と一〇〇〇の大台をこえている。関係者の努力の賜である。

一方登録用紙をあたってみると新規チームは非常に多く、三百近い数であったが、それがそのまま増加に結びつかないのは、登録をとりやめたり、あるいは解散してしまつたチームがあつたりで、差し引きするとこのような結果になつてしまふのは、残念なことである。

こういった消えていったチームの中には、高校チームもいくつかは見られるが、もつとも眼につくのは、クラブチームの消長である。

現在、クラブチームの置かれていく状況は非常に悪い。練習時間、財政面ともに四苦八苦の状況であり、それぞれの選手にかなりの熱があつても、なかなか

かチームとしてまとまっていけないのが実情のようである。

地域を単位としたクラブではほとんどチームが作られているヨーロッパ諸国との大きな違いがここに見られる。

経済上、時間的な問題が解決され、クラブでそれぞれの選手が十二分に活躍できるような、カネとヒマのもてる時代がくることが切望される。

高校チームが多数を占めているのは、もちろん高体連関係者の努力の賜であることは確かなのだがこれら高校チームの選手だった人

## 登録チーム数の発表を見て

々がそのまま、ゲームを離れてしまふことは誠に残念なことである。

各チーム内輪にみても、毎年5人の選手はあつることだろうから、一千チームで、毎年五千人のプレイヤーを自分自身でした人々が社会に送り出されている訳である。

その人達で続けてプレーしているのはごく少数でしかない。底辺の普及という点で誠にもつたいないことである。一〇年たてば五万人の人が送り出されることになるのではないか。これらの人とハンドボールとの関係がブツツリという

のでは、余りにもつたいない。なんとが関係をつなぐような工夫をしなくてはなるまい。カネとヒマなどといつてはいられない。

すでに本誌にも、田中滋章氏がよせられたようなチーム作りが、各地で具体的に進められるべきであらう。

各地のチーム作りの苦心談、あるいはこのようにしてチームを作つたというような話を本誌にどんなんよせて欲しいと考える。

こういった点で本誌がいささかでも読者のお役にたてばと思つて

それとともに、女子球界、教員界のより一層の拡充も望みたい。一般男子球界のチーム数の増加はいちぢるしいものがあるので、より一層その感を強くする。

社会の情勢、ハンドボール界の情勢等、チームが増加しにくい状況はあろうか、年々送り出されている選手がそのままになつてしまふはいかに残念である。

普及のトップを行く教員界については、自らも選手であることは多いに普及という面でも役だつてあろう。

企画委で検討中の教育系大学戦

が実現され、年々拡充され、教員チームが編成されていない選手層をならんから形で参加できるような形にもつていってほしいものである。

女子球界では、中四国・九州にチームが少ないことはいかに残念である。中四国、九州地区といえは、高校チームに優秀チームが多いことはすでに知られているところである。

これらの選手の多くの活躍できる場がないということはいかにも残念なことである。

いろいろ困難な状況はあろうがなんとかチームを編成し、より多く人間がより多くの期間、ハンドボール選手として活躍できるようになつてほしい。

底辺が拡大すること、競技人口が増えることは、日本リーグあるいは各種大会の支持層をも増すことになり、安定した大会運営を可能にすることになり、ハンドボール界の一つの具案事項を解決する道にもつながつてこよう。

底辺の拡大・トップレベルの向上、これは車の両輪のように、相ともなつて進む性格のものであるので、各チームの経験、その他チーム作りの具体策などをどしどし投書して、各チームの体験を全国で生かせるようにしてほしいと考える。読書諸兄の積極的な投書を待ちます。(T・S・F)

日本ハンドボール協会公認球

一番広く使はれて居る!  
セ下9一

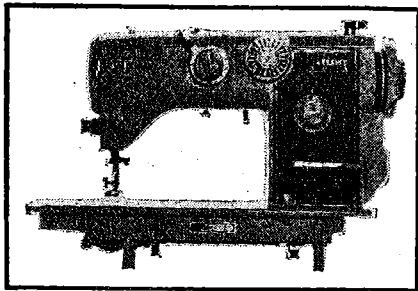
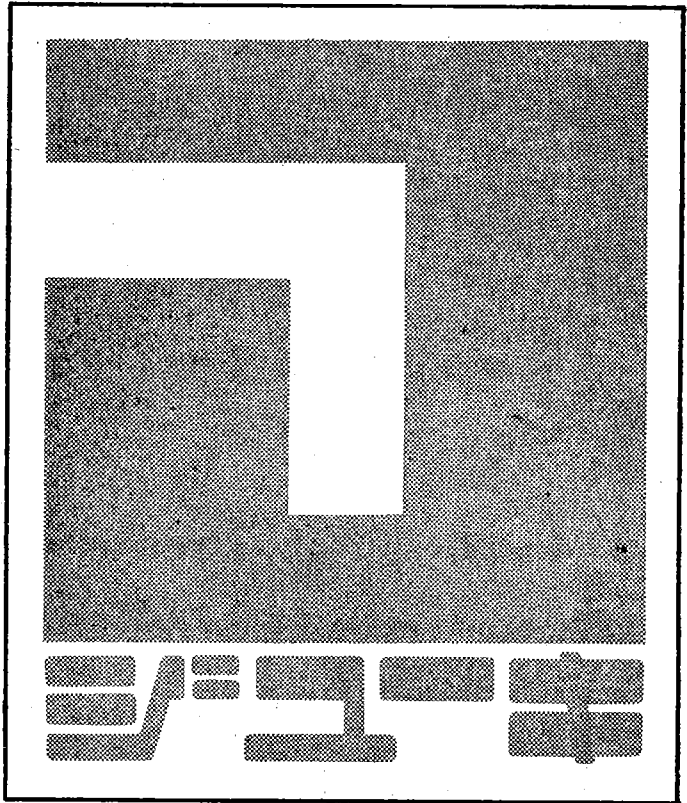


サービス部  
新宿区新宿2丁目電停前  
TEL (341)2979・1016

望月運動用品KK

東京都墨田区横川橋4丁目6  
TEL 本所 (622) 0746

ミシンはマークで  
お選び下さい



HZD-956 型

ダイカスト・フルオートジグザグ

 **東京重機工業株式会社**

本社工場 東京都調布市国領町 8 丁目 2 番地ノ 1 電話 (480) 1111 番(大代表)

# 「全日本大会」へ読者の意見

前号の問題点シリーズで「全日本大会の再検討」を報じたところ読者のかたがたから19通の投稿が寄せられた。いずれもユニークな意見ばかりだが、編集部ではこのうち九つ意見を御紹介することにした。

## シーズン制確立が急務

全日本各大会の再検討が進められているのだが、急務はむしろ「シーズン制の確立」にある。七人制一本化によって、年中のべつまくなしに大きな大会がありどこがビークなのか判らない。外国チームの来日がひんばんになるようだとますますこの傾向は強まるだろう。

私の考えとしては①4月から11月、②9月から1月の二つだと思う。

②にプラス8月のインター・ハイ、全日本教職員というのがよいのではなからうか。

そうならば必然的に全日本は総合と選抜のうち総合が残されよう。1月中旬に全日本選手権を開くのが理想的である。

(愛知 小池重治)

## 室内は日本リーグだけに

スポーツはやはり青空の下でやるべきであり、いかに七人制一本

化とはいえず、日本のハンドボールシーズンは8月を頂点に編成されるべきだ。それ故に小生は現行の全日本選手権の配置にまったく異議はなく、手なおしの結果は「改善」になると思う。

しかし、ハンドボールの一般へのPRは欠くことの出来ぬものであり、そのためには日本リーグを11〜12月に行ったらどうか。

男子の場合、実力のある学生勢の参加が問題だが、秋のリーグの結果によって関東2、関西1、地方1の4大学によってまず日本学生選抜リーグを行い上位2校を決め、一方実業団(全日本実業団選手権優勝者)、教員(全日本教職員選手権優勝チーム)、一般(団体一般男子優勝又は2位チーム)の3者によるリーグを行い1位を決め学生2者を加えての日本リーグを行うのだ。

学生側を東日本で、社会人側を西日本で行い隔年ごとにその開催地を変え、日本リーグは東京に固定したらよい。

女子は現行の日本協会推せん制が無難だが、準決勝リーグの会場は男子同よう二地区に分け、決勝リーグ(日本リーグ)を東京に固定したらどうか。(東京・鵜飼誠)

## 全日本総合二段階案

全日本総合の試合方法に提案。まず全国を北部、東部、中部、西

プラスチックの総合メーカー

メッキは金属だけでは……  
……ありません!

精密金型設計・製作  
マイクロプラスチック成型  
プラスチックメッキ

### 株式会社 宗形製作所

本社	大阪府高槻市辻子241番地	TEL 高槻(0726)75-5551
東北本社	福島県福島市清水町宇中谷地48番地	TEL 福島(02452)3-2812・2911
宗形工業化学株式会社	大阪府高槻市辻子252番地の1	TEL 高槻(0726)75-5767-8
京都金型製作株式会社	京都市南区上鳥羽花名町19番地	TEL 京都(075)68-9701

部の4ゾーンに分け、現行のプログラムを配分し、それぞれでトーナメントを行う。これを全日本総合第1次大会と呼ぶ。

つづいて各勝者によりリーグを行う。これを決勝大会と呼ぶ。

第1次大会は各ゾーンとも32チームのトーナメントを原則とする。

したがって全参加数はフルエントリーなら一二八チームとなる。決勝大会はその多数のなから精選された4者というわけである。

第1次大会は8月に各地で一斉に行い、決勝大会は9月に東京、大阪、名古屋で各年持ち廻つては

開く。

未定ながら空白が予想される11月に全日本学生、12月に全日本実業団を聞いてはどうか(大阪・KKK生)

### 16チームによる全日本を

全日本総合の32チーム(男子)は多すぎると思う。16チームでよい。

それを4チームづつ4組に分けた予選リーグ、ベストフオアによる決勝トーナメントは、2試合システムで行つたらよい。

予選リーグに3日、決勝トーナ

メントに4日計1週間を必要とするが、チャンピオンチームを選ぶにはこのくらいが必要だ。会期は11月又は12月。出場チームは全国9ブロック代表、学生推せん3、実業団推せん2、教員推せん1、前年度優勝チームの16とする。開催地は前号の6大都市輪番説に賛成。(横浜・S・S生)

### チャンピオンシリーズを

全日本総合も全日本選抜も廃会してしまい、全日本学生、全日本学生、全日本実業団、全日本教員各大会の上位チームによる「チャンピオンシリーズ」の新設を望む。

出場チームは男子は学生5、実業団2、教員1、女子は実業団5学生2、高校1。

8チームを4者づつ2組に分け準決勝リーグ、各組上位2者による決勝リーグを行う。

これだと一般社会人チームの代表がもれるが国体でがまんしてもらうことにする。そのかわり、男女とも国体には実業団の単独出場を禁じるのだ。(東京・三木治郎)

### 国体に女子実業団は遠慮を

機関誌によりますと、一般女子のクラブチームは年々減る一方とありますが、これはむしろあたりまえのことです。

実業団の条件のよさに比べて、

OGのクラブは好きだからやっているとだけ、あまりにもその差が大きく、試合で勝つことなどとうていムリです。

勝負は二の次と割り切るのには難しいことで、どうせ勝てないのなら、消極的になり、やがては活動休止というコースをたどるので

日本協会が、これまでにOGクラブの活路に手をさしのべたということを聞きませんが、せめて国体だけでも単独実業団の出場をストップさせ、OGクラブに開放するよう研究をしてみて下さいませんか。

全日本の再検討というテーマなのかのこれは一つになると思うのですが。(愛知・匿名希望II女性)

### 忘れるな地方への普及

オリンピック出場という大目標がある以上頂点の強化に球界が全力をあげるのは結構で、当然なこともであるが、やはり地方での普及ということを忘れてはならない

全日本選手権を大都市で集中的に開くという案も一理はあるが、地方の選手やファンはいかにしたらそれではよい試合を見れるのかといった点を充分留意して欲しい。

いままでのような高額な負担金では弱小地方協会ではとうてい国際試合など主管はできない。

今春、東京で日本協会30周年記念試合を開いたそうだが、東京で1回のみというのではなく、高レベルの試合を地方に持ち廻つてくれてもよかつたように思う。

企画委員会もプランニングばかりではなく、どの位のスケールの大会(あるいは試合)なら開催を引きうけられるか全地方協会にアンケートすることも必要だと思

地方で見聞する範囲では、全日本大会の再検討よりも以前に考えて欲しい基本課題の方が多いような気がする。(長野・O・B)

### 全日本選抜の解消を

現行の全国大会のうち、いちばん性格があいまいなのは、全日本選抜である。

選考基準が不明確なことがそれに拍車をかけているわけだが、各大会を同等に扱ってその上位チームをピックアップするという基本方針も必しも当を得たものではあるまい。

その選抜方法がシーズン前(年度はじめ)に知られているのならともかく、そうした配慮もされていないのではないか。

この大会を解消して全日本総合を12月に開くのが現状では最良の日程だと思ふ(京都・武田泰男)

### 「教員」の重視は疑問

日本のハンドボール界のなかで

教員チームの占める割合が大きいことはいちおう認められるものの学生、実業団と同じ扱いをしすぎるとような気がしてならない。

特に年末の全日本選抜の選考にかなり教員界のウエイトが大きいのはどんなものか。

たしかに秀れた選手はいるが、チームとしてはやはり総合力に欠ける。

教員の使命は、自らがプレーし栄光を得るよりも、底辺の拡充、競技の健全な普及といった面が第一義なはずだ。

去年の全日本選抜を見て、この大会があまり盛りあがらないのは、教員チームのまた国体(一般男子)の重視にあると感じた。

男子の場合、学生界4、実業団2、教員・クラブ2の計8チームとすれば充実すると思う。

そうならば全日本選抜無用論はおきてくるまい。(東京・中村修)

### 安藤純光氏が渡欧

安藤純光審判部長(日本協会常務理事・学連理事長)は、ヨーロッパの体育研究のためこのほど渡欧した。帰国は来年4月の予定。

なお、安藤氏が渡欧中の審判部は、山田計氏(日本協会常務理事)が部長代行、佐野和夫氏(都協合理事長)が事務を担当する。

日本ハンドボール協会組織・加盟団体所在地一らん表

(昭43. 9. 1 現在)

	会長名	理事長名	協会(事務所)所在地
本 部	保坂 周助 (代行)	荒川 清美	東京都渋谷区神南町25 岸記念会体育会館内
北海道	徳中 康満	岡田 豊夫	北海道幌別郡登別町字来馬169 登別高校内
青 森	鹿内 一胤	田村 侃三	青森市合浦町2-9-15 青森商業高校内
秋 田	武田 兼治	由利 弘	湯沢市新町 湯沢高校内
岩 手	菊池慶一郎	佐藤 敦	盛岡市本町通3-16-1 岩手医大教養部体育研究室内
山 形	市村利兵衛	保坂 浩	東根市大字東根丁177 東根高校内
宮 城	松川 金士	福島 富造	仙台市川内 東北大教養部体育研究室内
福 島		熊田 栄一	郡山市方八町2-6-9 熊田栄一方
群 馬	保坂 梅雄	町田 歳雄	富岡市七日市1500 富岡高校内
栃 木	長竹 寅治	渡辺 繁	足利市本城1-1629 足利高校内
茨 城	染谷秋之助	入江 暢一	水戸市渡里町 茨城大学体育研究室内
埼 玉	藤間 英一	井田万三郎	浦和市元町1-28-17 浦和市立高校内
千 葉	安田 敬一	角田 節	佐原市佐原1861 佐原女高内
東 京	渡辺 和美	佐野 和男	品川区五反田2-2-7 (株)大崎電気工業内
神 奈 川	保坂 周助	若崎 重富	横浜市南区三春台4 関東学院高等部内
山 梨		清水 正	山梨県東八代郡石和町 山梨園芸高校内
新 潟	近藤 祿郎	渡辺五郎兵衛	柏崎市東本町2丁目 近藤祿郎方
長 野	鈴木 俊	油井孝一郎	小諸市田町 小諸商業高校内
富 山	高田 義一	島田 重春	富山市新総曲輪2番32号 富山県経済農業連合会
石 川	油谷 外郷	若山 博	金沢市丸の内3-3 石川県体育協会内
福 井	伊藤 仁和	中村九郎右衛門	福井市坂垣町29 羽水高校内
静 岡	斎藤 敏之	片瀬喜代治	清水市青葉町1 清水市立商業内
愛 知	小杉 仁造	栗脇 巖	愛知県知多郡横須賀町高横須賀 県立横須賀高校内
岐 阜	山内 晴次	高井 勝勇	岐阜市加納三笠町2-19 (株)常盤工業内
岐 三	田村 正衛	中根 武彦	津市柳山興 津実業高校内
滋 賀	白崎 重幸	尾本 和男	彦根市金亀町 彦根東高校内
京 都	木下弥三郎	入江 平三	京都市左京区嵯峨広沢南野町19-11 小西博喜方
大 阪	野原 博彦	山田 計	大阪市住吉区帝塚山西4-55 市立住吉中学校内
兵 庫	滝川 慶作	増岡 茂義	神戸市須磨宝田町2丁目1 滝川高校内
和 歌 山	中村 常夫	岩西 宏純	和歌山市豊原町1-1 桐蔭高校内
奈 良	堀内 俊夫	森田 正英	奈良市高樋町4の8 森田正英方
岡 山	村山 寛	辻 一義	岡山県真庭郡落合町垂水 落合高校内
広 島	川上 正幸	伊藤 茂男	広島市若草町駅北口 (株)いとう屋内
山 口	近間 忠一	藤田 信義	山口市糸米 山口高校内
島 根	青山 善平	高尾 茂	松江市乃木福富町 島根農科大附高校内
島 取	安田 光昭	高木 敏行	境港市上道町821 境港高校内
香 川	森 住雄	辻 要	高松市四番町8 高松工芸高校内
徳 島	久木 武夫	田岡 忠	徳島市田宮町西野799 城北高校内
愛 媛	梶浦 暁一	越智 武	松山市石手503-2 越智武方
高 知	邑田 一郎	川崎 秀雄	高知市追手筋7 追手前高校内
福 岡	岡野 正美	中西 敬一	福岡市香椎町 香椎高校内
佐 賀	古賀甚一郎	甲斐 忠義	佐賀市北川副町木原 佐賀東高校内
長 崎	桑原 信市	松村 守	長崎市文教町 長崎大学教育学部内
崎 崎	中尾 節次	疋田 忠	大分県東国東郡国東町田深 国東高校内
大 宮	野瀬 良胤	池之上明造	都城市妻ヶ丘町27-15 都城泉ヶ丘高校内
熊 本	佐々木克己	藤田 八郎	熊本市黒髪町坪井242 済々黌高校内
鹿 児 島	増田 静	鮫島 昇	鹿児島市小川町3-56 県庁内国体事務局連務調整課気付
沖 縄	仲田 豊順	平仲 孝栄	沖縄・沖縄郡那覇市字真地248 真和志高校内
(加盟団体)			
高体連ハンドボール部	児玉 九十	徳永 陸繁 山田 計 小袋 是郎	東京都世田谷区成城町1100 世田谷工業高校内
全日本学連	西 敏郎	安藤 純光	東京都渋谷区神南町25 岸記念体育会館内
全日本実連	古賀和佐雄	浜田猪三郎	東京都品川区五反田2-2-7 (株)大崎電気工業内

306420

(注) 高体連役員のうち児玉氏は部長、徳永、山田、小袋の3氏は副部長

# 関東学生 "記念" を飾れず

## 対実業団 関東学連30周年試合

関東学生連盟の創立30周年記念試合は、9月23日午後2時から東京・駒沢屋内球技場に二千近い観衆を集めて開かれた。

記念試合は記念式(西会長の挨拶など)に引きつづき男女の関東実業団選抜―関東学生選抜の2試合が行われ、いずれも巧みな試合運びを見せた招待チームの実業団選抜が一本調子の学生選抜を降した。

代田印刷機製造)【学生】▽FP村上(芝浦工大)、喜田(中央) ○……学生のスタートはよかつた。主役は東(立教)。いきなり一人で4点を連取し7分4―0とした。

出ばなを叩かれた実業団は激しいあたりを見せる学生のディフェンスを切り崩せず11分近藤(大崎電氣)がやっと1点目。18分2―6とはなされてそのままのペースで進むかみえたのだが、そのあとどうしたことが学生の突進がばたりと止まってしまった。

○……こうなると実業団はベテラン揃いだ。24、26分竹野(大崎電氣)の連続ゴールを口火に次第に追いあげ27分尾形(三景)のゲットで6―6の同点。28分30秒飯田(大崎電氣)のミドルシュートで逆転し完全に試合の主導権を握ってしまった。相手の乱調に乗じて劣勢から一気に優位へと立ち場を変えてしまふ実業団各選手の老巧さはみごとだが、この間の学生勢の無策は情ない。

○……後半も実業団ががっちりベイスを守って先行、特に10分と12分の2回、相手のスキをつくしシュートを決めた左腕・尾形の巧技は

鮮やかで17分には12―8とリードした。

学生は前半18分以後無得点がつづき8分ようやく東がゴール、そのあと反撃の氣勢を示して再び試合を活気づかしたのだが、要所をG.K.福本(大崎電氣)におさえられたり、ボンヘッドをおかして1点差で逃げ切られてしまった。

○……実業団は、国体を前にして主力選手が好調、一方の学生はリーグ戦一ヶ月間。"条件の差"もあるにはあつたが、それにしても学生勢は混成とも思えぬコンビネーションをみせたが、これはゴール前の巧みな配球によるものだ。

学生は前半18分以後無得点がつづき8分ようやく東がゴール、そのあと反撃の氣勢を示して再び試合を活気づかしたのだが、要所をG.K.福本(大崎電氣)におさえられたり、ボンヘッドをおかして1点差で逃げ切られてしまった。

○……実業団は、国体を前にして主力選手が好調、一方の学生はリーグ戦一ヶ月間。"条件の差"もあるにはあつたが、それにしても学生勢は混成とも思えぬコンビネーションをみせたが、これはゴール前の巧みな配球によるものだ。

学生のパスは、むやみに力が入りすぎていた。単一チームならそれも通るだろうが、混成では、よほど呼吸が合わぬ限りつながるわけはない。特にリードを許したあとは焦りもあつてこの失敗がつづいた。ハンドボールセンスの差が勝負を色分けたといつてよいだろう。

○……わずかに後半11分野田(立教)―藤中(日体大)の連けいプレーが"30年の伝統を誇る関東学生界"にふさわしいもので、あとはOB連中の巧技ばかりが目につき、男女とも苦々しい"御祝儀"をプレゼントされるハメになつてしまった。

○……実業団は6分鈴木(大崎電氣)が独走して先取点、つづいて

実業団スピードで圧倒

▽女子

関東実業 16(7―3)6 関東学生 0(0―0)0

選抜 (9―1)3 6 選抜

0 0 2 1 0 1 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

大 大

大 大

大 大

大 大

大 大

大 大

大 大

大 大

大 大

大 大

大 大

大 大

蓮見、早川、加藤と得点を重ねたが、学生は石井の7MTによる1点のみで15分を経過、その後もシュート数では学生側は勝利ながら、決定力がないままに、実業団の確実なシュートの前に点差を拡げられた。学生陣は20分をすぎてもからやと、川口が2点をあげ、後半に興味をつないだ。

○……後半は総合力の差がはっきり出てしまい、時間の経過とともに点差も開いていった。

後半になると学生は前半には決定しなかつたが、とにかくうてたシュートががぜんへつてしまひ、しかも5分から23分まで無得点という状態が続いた。これに反し、実業団は後半14本のシュートのうち9本を決めるというシュートの確実さ。

やはり両者の決定的な差はスピードである。攻守の展開の速度がまるで違うのだ。脚力、シュート力はもちろん、キャッチからパスへの動作にまで差がある。

例えば、せっかくだがボールを得て逆襲に転じて、帰陣の早い実業団選手に廻りこまれてつぶされてしまう。

こうしたことどれかひとつ改められても、スコアはかなり縮めることができると思う。学生勢のいつそうの精進を望みたい。

(杉山)



**各地の記録**

寄稿 歓迎

高校で石岡勢が勝つ

東海村 21-13 小川町  
▽同決勝  
東海村 30 (1317-146) 10 内原町

▽第4回茨城県民総体ハンドボール (9月・茨城大)

▽高校男子準々決勝  
麻生 12-7 土浦三  
土浦工 14-13 笠間

▽一般男子市対抗準決勝

石岡一 18-6 下館一  
竜ヶ崎一 11-3 土浦一

▽同決勝

▽同準決勝  
土浦工 11-7 麻生  
石岡一 8-4 竜ヶ崎一

勝田市 23 (1211-118) 19 竜ヶ崎市

▽同決勝  
石岡二 9 (45-4) 7 水海道二

▽同町対抗1回戦 (1試合)

石岡二 9 (45-4) 7 水海道二

**編集部からのお願い**

本誌では、日本ハンドボール界の健全な発展のために、読者各位からの積極的な寄稿を歓迎いたします。技術リポート、研究論文をはじめどしどしご意見を編集部までお寄せ下さい。研究論文は特に設けません。

▽研究論文  
五千字ないし一万字、原稿用紙使用のこと。図・写真を入れて下さって結構です。

▽技術リポート  
ただし未発表のものに限りません。

▽各地の記録  
以上は原稿末尾に住所、氏名、勤務先を明記してください。

▽用紙自由  
原稿末尾に大会主催団体名を必ず記入をお願いします。

▽表紙写真  
各地の記録用に写真も入れていただいで結構です。

▽題材の選定  
題材は限りませんが、なるべく、多くの読者に興味ある題材を選んでいただきたいと思っております。キャビネ版以上裏面に日時場所、対戦チーム、大会名(できればデータも)を明記して下さい。

●原稿のあて先は  
東京都渋谷区神南町25  
日本ハンドボール協会編集部  
●原稿は編集の都合上、原文を短かくする場合がありますが、御了承下さい。写真も掲載しかなる場合もあります。

石岡一 21 (1011-2) 6 土浦工  
▽同女子準々決勝  
笠間 9-4 磯原

石岡二 11-9 鉢田二  
八郷 12-4 麻生

水海道二 14-4 常北  
▽同準決勝  
石岡二 16-5 笠間

水海道二 (分) 5 八郷  
抽せんにより水海道二の勝ち

▽同決勝  
石岡二 9 (45-4) 7 水海道二

▽市対抗中学校男子決勝  
結城 18-17 駒王

▽同女子決勝  
結城 11-8 水海西

▽町対抗中学男子決勝  
千代田 23-22 桜丘

▽同女子決勝リーグ順位①新治②  
桜丘③神栖

高校ク勢強し  
第二回静岡県西部ハンドボール  
選手権9月8日・於二俣高

▽一般男子リーグ  
浜松南高ク 22-10 西部陸上教員ク

天竜林業ク 23-20 二俣高ク

二俣高ク 20-18 自衛隊浜松北

浜松南高ク 22-13 気賀高ク

自衛隊浜松 13-10 二俣高ク

北河内 17-6 萩一中

天竜林業ク 20-17 気賀高ク

浜松南高ク 25-11 天竜林業ク

①浜松南高ク、②天竜林業ク、③  
気賀高ク、④二俣高ク、⑤西部陸  
上教員ク  
自衛隊浜松北は特別参加のため  
順位なし

▽一般女子準決勝  
二俣高ク 15-8 浜松南高

▽同決勝  
二俣高ク 14-9 浜南クラブ

第21回滋賀県民体育大会結果  
(滋賀のスポーツによる)

▽中学男子決勝  
彦根南 13-6 守山

▽中学女子 (リーグ戦)  
秦荘中3勝で優勝

▽高校男子決勝戦  
八幡工 10-9 彦根東

▽高校女子 (リーグ戦)  
八幡高 3勝1分で優勝

▽一般男子決勝戦  
野洲 10-9 高島

▽一般女子決勝戦  
愛知 6-5 近江八幡

吉見(男)・柱島(女)勝つ  
第21回山口県中学校体育大会  
10月10・11日

男子18校、女子5校が集り、開  
かれた。

▽男子準々決勝  
吉見 14-10 柱野

河内 15-7 小野田

北河内 17-6 萩一中

通津 11-9 文洋

▽男子準々決勝  
男子18校、女子5校が集り、開  
かれた。

▽男子準々決勝  
吉見 14-10 柱野

河内 15-7 小野田

北河内 17-6 萩一中

通津 11-9 文洋

北河内 9-6 通津  
吉見 17-6 河内

▽男子決勝  
吉見 14-5 北河内

▽女子準々決勝 (一回戦)  
天尾 16-4 大内

(一試合のみ)  
▽女子準々決勝  
天尾 15-6 住吉

柱島 25-3 鴻南

▽女子決勝  
柱島 15-5 天尾

**集記**

▽今月号は国体を中心に  
した編集にしました。表  
編後 紙写真には、兵庫の光島  
磯雄氏が望遠レンズを駆使した非  
常にシャープな写真をよせて下さ  
いました。大変感謝しておりま  
す。

また福井新聞社にも無理をお願  
いして、写真を出していただきま  
した。感謝いたします。

どしどし、写真をお送り下さ  
い。紙面の許す限り掲載してい  
たいと思っております。

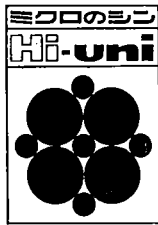
これがお手許に届くころには、  
メキシコの聖火も消えていること  
でしょう。

いよいよミュンヘンです。この  
聖火の下、プレーできるように、  
全員で努力していきたいと思っ  
ています。

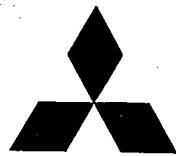
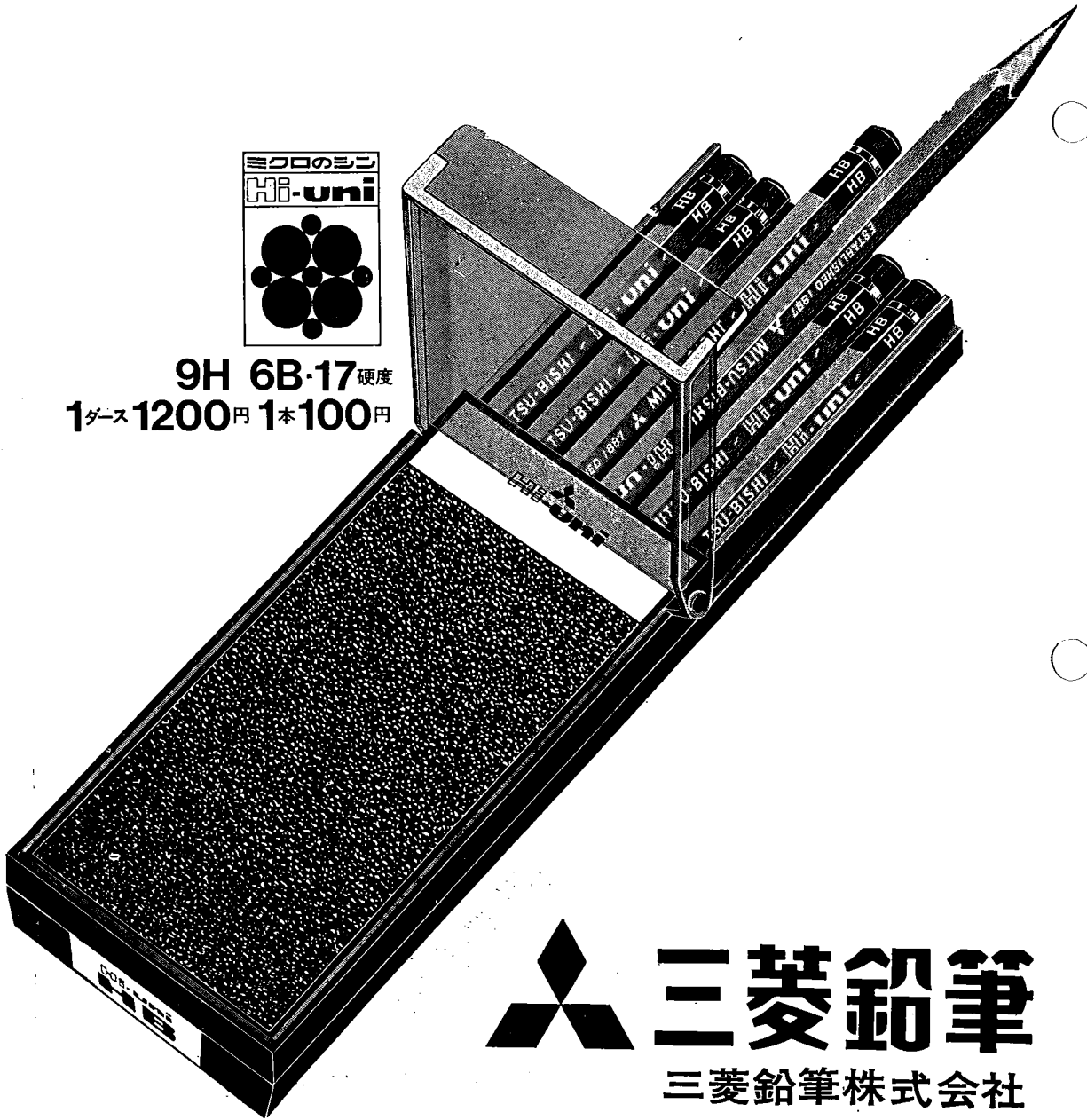
(TF)

# ハトユニ

黒く・濃く・きれいに書ける理想のシン  
そのヒミツは  
理想の粒度配合



9H 6B-17 硬度  
1ダース 1200円 1本 100円



## 三菱鉛筆

三菱鉛筆株式会社

**フジカラー**  
サービス

カラー写真ならもっときれい!



現像とカラープリントはお近くのカメラ店で  
〈フジカラーサービス〉とご指定ください

フジカラーの純正現像

- フジカラー N100
- フジカラー R100
- フジカラー シネ 8mm・16mm
- トーキー映画(磁性体塗布加工)
- フジマグネオストライプ
- 小型映画フィルムの複製
- フジシネコピー

美しいカラープリント

- フジネガカラープリント
- フジポジカラープリント
- フジダイカラープリント
- フジ G カラープリント
- フジネガカラースライド
- フジポジカラースライド

**フジカラーの総合現像所**  
**株式会社 フジカラーサービス**

札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡

日本ハンドボール協会編  
ハンドボール

第五十九号

昭和四十年六月七日(和四十四年十月二十五日印刷)  
第三種郵便物認可 昭和四十三年十一月一日発行  
発行所 日本ハンドボール協会

東(渋谷区神南町二五)  
電話(大代表)三二二一  
振替東京五八三三八番

編集兼  
発行人 保坂周助

定価 百五十円  
11(年)間購読 千二百円